

「第2次千葉県文化芸術推進基本計画」令和7年度実施結果（県実施分）

参考資料1

施策の柱1 県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実
～身近な日常の中にある文化芸術にもスポットを当て、誰もが文化芸術の鑑賞や自己表現を行いやすくするための基盤を整備する～

①誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組1 身近な日常の中にある文化芸術の普及・啓発の実施								
1	ちば文化交流ボックス		県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:1,430,294人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	千葉県建築文化賞		安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日～9月30日 作品応募数:48作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞3点、計8点を表彰した。 3. 表彰式 令和7年3月17日に本庁舎5階大会議室で、表彰式を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,248	県土整備部	建築指導課
3	著作権の普及啓発		関係各課からの著作権に係る問合せ等に回答するほか、必要に応じて専門団体(公益社団法人著作権情報センター)を案内し、著作権制度の普及啓発に取り組む。	関係各課からの著作権に係る問合せ等に回答するほか、必要に応じて専門団体(公益社団法人著作権情報センター)を案内し、著作権制度の普及啓発に取り組んだ。	問合せの内容に応じて、専門団体の連絡先を紹介する等、適切に対応した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
4	県立文化会館自主事業、管理運営事業		県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):564,179名 ・利用事業数(4館合計):3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組2 文化施設等における公演や展覧会等の充実								
5	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):564,179名 ・利用事業数(4館合計):3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
6	県立美術館・博物館事業		県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
7	県立美術館・博物館企画展等展示事業		県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
8	県立美術館・博物館活性化事業(資料のデジタル化)		県立美術館・博物館の環境整備等を実施することにより利用環境を改善し、県民が快適に利用できる環境づくりを目指す。	美術館では、デジタルコンテンツ「コレクション100選」を作成し100作品分の解説・高精細画像を公開した。加えて、所蔵作品180件の高精細画像を撮影した。また、中央博物館では10,537点のデジタル化を行った。	デジタル化した古写真等のデータをデータベース上に登録することにより、だれもが博物館資料に気軽にアクセスできるようになり、それに伴ってマスコミ等による資料の活用件数が増加した。 コレクションの魅力や研究成果をあらゆる人々が身近な環境の中で触れられる場面を創出するため、デジタル技術を活用してオンライン上で公開することができた。	6,005	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

①誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組2 文化施設等における公演や展覧会等の充実								
9	さわやかちば県民プラザ事業		ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した。 ①ザ・ワールドオブプラス：・概要：県内の中・高校の吹奏楽部全20校がフロアマーチングの発表を実施した。参加者：5218人 ②高校生バンドフェスティバル・概要：県内の高校生バンド24組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者：333人 ③「柏の葉吹奏楽団」・概要：芸術文化活動を支える人材育成のために楽団を結成し吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者：3328人 ④とうかつ地域文化祭・概要：東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者：9168人	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多く県の民に触れる場となるよう広報も工夫した。	272	教育庁	生涯学習課
10	県警音楽隊定期演奏会		演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。	11月22日(土)千葉県文化会館大ホールで午前の部、午後の部、2回の演奏を実施した。	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	908	警察本部	
取組3 文化施設等以外での文化芸術に触れる機会の提供								
11	商業施設連携(ちばミライ文化祭)		○千葉県誕生150周年を契機として、県内に大型商業施設を持つ企業等と連携して取組を行ってきたが、記念事業終了後も各社との連携を千葉の魅力発信に活かすため、各社を「ちばミライパートナー」と称し、取組を行っている。「ちばミライパートナー」との連携企画の一つとして、令和5年度から「ちばミライ文化祭」を開催している。 ○「ちばミライ文化祭」とは、千葉のミライを担う県内中学校、高等学校の生徒たちが、県内の大型商業施設等でコンサートやパフォーマンス、作品展などを実施し、日頃の部活動の成果を発表するもの。	「ちばミライ文化祭2025」 ・期間：令和7年10月4日～11月24日 ・参加数23校・26団体 (令和7年度初参加校6校、初参加部活9団体) ・会場数15施設	新規参加校及び参加団体の増加により、より多くの学生に部活動の成果発表の場を提供することができたことに加え、多くの来場者に対して学生のパフォーマンスに触れる機会を提供した。 さらに、ポスターデザインを千葉大学に依頼し、制作段階から学生が参画することで、文化祭としての一体感及び魅力の向上に資する取組となった。	435	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
12	県民芸術劇場		県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期：通年 ・公演数：33公演 (管弦楽2公演、室内管弦楽4公演、室内楽22公演、芸術鑑賞教室5公演) ・会場：県内文化ホール等	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、本県の芸術文化の振興を推進した。	13,329	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
13	県警音楽隊派遣		要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数127日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計241回の演奏を行った。(令和7年1月～令和7年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	-	警察本部	
14	県警音楽隊金曜コンサート		4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、実施。	県立羽衣公園(4月18日)、きぼーる1階アトリウム(5月16日、9月12日)、千葉市役所1階市民ヴォイド(6月20日)、県立羽衣公園(10月24日)で実施(計5回)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	-	警察本部	
15	千葉県議会議場演奏		県民文化の向上発展のため昭和62年度以来、改選後の6月定例会招集日の冒頭に、議場で公益財団法人千葉交響楽団による演奏会を実施している。	実施なし		-	議会事務局	
16	芸術祭開催事業 ＜R7新規事業＞		○広域的な市町村連携により、地域の自然・文化・歴史などの資源を生かし、交流人口の拡大や地域活性化などにつなげるにより、本県ならではの芸術祭として発展させていくことを目的とした事業であり、 (1)千葉ならではのテーマや「ちば文化資産」を活用した芸術祭で、 (2)県内の3市町村以上が連携して実施する、 (3)総事業費が1億円を超える事業に対して、県が負担金を支出するとともに、実行委員会へ参画を行うもの。 ○令和8年度には下記のとおり2つのエリアで開催が決定しており、現在、県と市町で構成するそれぞれの実行委員会において、開催に向けた準備を進めている。 (1)市原市・木更津市・大多喜町の「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」 (2)成田市・印西市・栄町の「空・水・空芸術祭」	(1)「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」(市原市・木更津市・大多喜町)実行委員会において開催に向けた準備を進め、令和8年1月30日に第2回総会を開催した。また、本祭に向けた機運を醸成するため、令和8年3月下旬にプレイベントを開催し、複数の常設作品の公開やワークショップ、イベント(おにぎりのための運動会)を開催した。 (2)「空・水・空芸術祭」(成田市・印西市・栄町)県と市町の実務者レベルにおいて準備委員会を設立した後、令和8年2月6日に実行委員会設立総会及び第1回総会を開催した。	双方の芸術祭について、着実に開催に向けた準備を進めることができた。特に県内外に向けた広報を通して本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。 特に、「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」のプレイベントにおいては、子どもから大人まで幅広い世代が現代アート、音楽等に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	78,000	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課

①誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組3 文化施設等以外での文化芸術に触れる機会の提供								
17	県立文化会館自主事業、管理運営事業(アウトリーチ)	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):564,179名 ・利用事業数(4館合計):3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
18	県立博物館連携事業(出前展示等)	再掲	分館の集約によって、県立博物館へのアクセスが困難になってしまう地域を中心に、学校が気軽に博物館を利用できるようにするための事業を実施するほか、研究員による出前展示を実施する。また、全国の博物館ネットワークにおける連携、外部有識者からの助言・指導を定期的にもらう機会を設け、博物館活動の研鑽を実施する。	中央博物館では、出前展示(学習キット貸出)を43件実施し、計2,614人が利用。博物館協議会を3回開催。 現代産業科学館では、展示会に14の会員団体が出展、実験・工作教室は9会員、サイエンスショーは5会員が実施。	中央博物館では、様々な学習キットを提供することで、博物館に来館できなくても博物館を活用できる環境を提供した。博物館協議会を3回開催し、有識者からの助言・指導を受け、今後の博物館活動の方針策定の参考とした。 現代産業科学館では、展示会への来館者も多く、実験・工作教室やサイエンスショーも家族連れなど幅広い年齢層が参加し、好評を得た。	339	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
19	県立美術館・博物館企画展等展示事業(移動美術館等)	再掲	県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組4 わかりやすい文化芸術情報の提供								
20	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:1,430,294人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
21	県立美術館・博物館情報発信事業		民間出身の広報戦略アドバイザーの知識・経験を活かし、戦略的な情報発信を行うことで、博物館・美術館に関心がない層も含めた認知度の向上・集客強化を図り、より多くの県民が文化芸術に触れる機会をつくる。	中央博物館で7月～9月に開催した特別展テーマにあわせ、夏休みの家族連れをターゲットとした、千葉の文化を学べるイベント・発信等を実施した。イベントでは、料理研究家インフルエンサーを起用し、SNSでのイベント告知を依頼した。 実施日:令和7年8月23日(土)10:00～17:00 会場:県立中央博物館前敷地 委託業者:株式会社オニオン新聞社 イベント来場者:1,182人	千葉県の海の幸を用いた食文化に触れる機会を創出することを意識して、キッチンカーによる県内海産物を使用したメニューの販売や、物販ブースを設け、千葉県漁業協同組合連合会による県産海苔及び水産加工品の販売を実施した。	4994	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
22	県立美術館・博物館企画展等展示事業(美術館広報・ブランディング化事業等)	再掲	県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

②誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組5 誰もが文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供、交流の場づくり								
23	千葉県環境月間ポスター作品募集		環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	応募数791作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。また、各種イベント等で展示した。	環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。	1,085	環境生活部	循環型社会推進課

② 誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組5 誰もが文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供、交流の場づくり								
23	千葉県環境月間ポスター作品募集		環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	応募数791作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。また、各種イベント等で展示した。	環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。	1,085	環境生活部	循環型社会推進課
24	水道週間ポスター・標語コンクール		千葉県企業局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査するとともに、受賞者の表彰や入賞作品展の開催などを行っている。	■表彰式の実施 最優秀、優秀賞受賞者を対象とした表彰式を6月2日に開催(受賞者のうち11名参加) ■入賞作品展の開催 ・会場: 県庁本庁舎1階連絡通路・そごう千葉店・県立美術館第6展示室 ・期間: 1週間程度(各会場) ・来場者数: 299名(県立美術館※) ※他会場は計測していないため不明 ■コンクールの作品募集(テーマ:「水道」「水資源」「水の大切さ」) ・応募総数: ポスター部門316点、標語部門394点 ・入賞 ポスター: 最優秀4点、優秀賞8点、佳作40点 標語: 最優秀1点、優秀賞10点、佳作20点を選出	学校や公民館等に作品募集のお知らせを送付し、また、県内施設にて入賞作品を展示することで、ポスターや標語の制作・鑑賞を通じて文化芸術に親しむ機会を提供した。	467	企業局	管理部業務振興課
25	千葉・県民文化祭		県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数: 全29件、期間: 令和7年6月22日～令和8年1月14日、場所: 県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど(全県)、関係者: 文化芸術団体(全28団体)、来場者(合計): 57,636人 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 中央行事 日程: 10月19日(日)場所: 千葉県文化会館、関係者: ((公財))千葉県文化振興財団・出演者・出品者等(300名)、来場者: 一般県民等(1,154名・入場無料) ちば文化資産アウトリーチコンサート 日程: 9月5日 場所: 千葉県立美術館 来場者: 150名	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	10,570	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組6 誰もが生涯をとおり、文化芸術を体験・学習する機会の充実								
26	千葉県生涯大学校管理運営事業		地域活動の担い手となる人材の育成を進め、高齢者自らの健康維持や社会参加による生きがいの高揚を図るため、生涯大学校を県内5学園で運営する中で、スポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「千葉県生涯大学校」の運営 千葉県生涯大学校の学生にスポーツ・文化等に関する活動の提供 令和7年度学生数(R7.4.1時点) 1,741名	千葉県生涯大学校の学生にスポーツ・文化等に関する活動の場所を提供した。	291,957	健康福祉部	高齢者福祉課
27	さわやかちば県民プラザ事業	再掲	ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した。 ①ザ・ワールドオブプラス・概要: 県内の中・高校の吹奏楽部全20校がフロアマーチングの発表を実施した。参加者: 5218人 ②高校生バンドフェスティバル・概要: 県内の高校生バンド24組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者: 333人 ③「柏の葉吹奏楽団」・概要: 芸術文化活動を支える人材育成のために楽団を結成し吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者: 3328人 ④とうかつ地域文化祭・概要: 東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者: 9168人	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの人々に触れる場となるよう広報も工夫した。	272	教育庁	生涯学習課
28	リカレント教育の推進		生涯にわたり必要な知識を学び直すリカレント教育を推進する。	リカレント講座を10回開催した。	生涯にわたり文化芸術を楽しむことができることを意識し、キャリアを見つ直す講座等を実施した。	12,744	教育庁	生涯学習課
29	県立美術館・博物館教育普及事業		来館者による自主的な展示観覧以外の博物館活動で、講座・観察会や、ワークショップ、展示解説会などを通して県民サービスの向上を図る。また、博物館活動を支えるボランティア等の運用のほか、館の活動成果を周知するための刊行物作成等を実施する。 また、フィールドミュージアムで地域の自然や文化そのものを「資料」ととらえ、野外でそれらに直接触れ、学び、楽しむことを目的とした博物館活動を実施する。	中央博物館: 観察会5回(うち1回雨天中止)、参加人数計111人 教室博物館: 24日開館、来館者200人 海の博物館: 観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・体験コーナー・みんなで工作などの主催行事のほか、学校や団体からの求めに応じて実施する野外実習授業や団体フィールドトリップ等を実施、参加人数計3,510人 関宿城博物館: 城下を歩こう(城下町コース、河川コース)・河川敷のいきものさがし、参加人数計76人	県民が芸術文化に親しむことができるよう、観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・工作など、各館のテーマや研究員の専門的知見に応じた多彩な博物館活動を実施することができた。	10,404	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

② 誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組7 障害者の文化芸術活動の推進								
30	障害者芸術文化活動支援事業		障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施事業:障害者による文化芸術活動に関する相談受付(61件) 障害当事者や支援者向けの人材育成研修及びワークショップの実施(実施件数:11回、参加者数:519人(延べ数)) ・展覧会等:1月20日～2月1日(展示作品数:470点) 期間中会場を訪れた人数:2,979人 ・巡回による作品展示:県内公共施設等10箇所、ファミリーマート店舗5箇所 ・バリアフリー演劇鑑賞会 計2回 累計鑑賞者数:365人	「相談受付」、「人材育成講座の開催」、「ネットワークの構築」、「発表等の機会の創出」、「情報収集・発信」の活動により、障害者による文化芸術活動の振興に寄与した。	13,499	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
31	特別支援学校巡回コンサート		プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期:通年 ・巡回先:県内特別支援学校18校	特別支援学校18校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	13,590	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
32	OLC連携事業(子どものワークショップ)	再掲	「千葉県と株式会社オリエンタルランドとの文化芸術等に関する包括連携協定」は、令和5年1月に千葉県と株式会社オリエンタルランドが締結した協定であり、子どもたちの夢と未来を育み、郷土への誇りと愛着を高めるため、本協定による活動を推進し、千葉県の一層の活性化に資することを目的としている。 令和5年度には千葉県誕生150周年記念パレード、令和6年度にはファンタジースプリングスレビューを実施したほか、「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小中学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室、職業講演会、技術系ワークショップなど、様々な事業を展開している。	「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室などのほか、新たな事業として、千葉県内の高等学校等に通う生徒等を対象に、株式会社オリエンタルランドにおいて「技術系ワークショップ」を実施した。	各種事業の実施を通じて、協定の目的となる「子どもたちの知的好奇心」や思いやりの心を育む「心の育成」に寄与することができた。	4,529	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
33	県立美術館・博物館教育普及事業(インクルーシブ展示等)	再掲	来館者による自主的な展示観覧以外の博物館活動で、講座・観察会や、ワークショップ、展示解説会などを通して県民サービスの向上を図る。また、博物館活動を支えるボランティア等の運用のほか、館の活動成果を周知するための刊行物作成等を実施する。 また、フィールドミュージアムで地域の自然や文化そのものを「資料」ととらえ、野外でそれらに直接触れ、学び、楽しむことを目的とした博物館活動を実施する。	中央博物館:観察会5回(うち1回雨天中止)、参加人数計111人 教室博物館:24日開館、来館者200人 海の博物館:観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・体験コーナー・みんなで工作などの主催行事のほか、学校や団体からの求めに応じて実施する野外実習授業や団体フィールドトリップ等を実施、参加人数計3,510人 関宿城博物館:城下を歩こう(城下町コース、河川コース)・河川敷のいきものさがし、参加人数計76人	県民が芸術文化に親しむことができるよう、観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・工作など、各館のテーマや研究員の専門的知見に応じた多彩な博物館活動を実施することができた。	10,404	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
34	心の輪を広げる障害者理解促進事業		障害のある人に対する理解の促進を図るため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分、計31作品) 【ポスター】小学生・中学生(2区分、計13作品) (2)募集期間 7月1日から9月5日まで (3)目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・知事最優秀賞(5区分、5名)、知事優秀賞(6区分、6名)、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞(3区分、3名)の計14名を表彰 ・令和7年11月19日(水)に青葉の森公園芸術文化ホールで開催された、第57回千葉県身体障害者福祉大会において表彰を行った。 ・最優秀賞作品は内閣府へ推薦した。	募集テーマに則った作文やポスター作品を応募いただき、優秀作品を表彰するなどにより、障害のある人に対する理解を促進することができた。	—	健康福祉部	障害者福祉推進課

② 誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組7 障害者の文化芸術活動の推進								
35	交流の作文コンクール事業		心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒(出品校7校、応募作品総数48点) (2)募集期間 8月1日から10月17日まで (3)目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会(入賞者決定、11月28日)・表彰(2月22日) ・入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。 ・千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。 ・県庁舎で作品を展示した。	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品9点については、知事賞や教育長賞等を授与し、表彰式が報道される等、県民の障害者への理解を広めることができた。	272	健康福祉部	障害者福祉推進課

③子ども・若者の文化芸術活動の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組8 子どもたちが文化芸術に触れ親しむための環境づくり								
36	県民芸術劇場	再掲	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期: 通年 ・公演数: 33公演 (管弦楽2公演、室内管弦楽4公演、室内楽22公演、芸術鑑賞教室5公演) ・会場: 県内文化ホール等	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、本県の芸術文化の振興を推進した。	13,329	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
37	特別支援学校巡回コンサート	再掲	プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期: 通年 ・巡回先: 県内特別支援学校18校	特別支援学校18校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	13,590	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
38	学校音楽鑑賞教室		次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期: 通年 ・公演数: 45公演 ・巡回先: 県立高等学校6校、県内公立小・中学校39校	次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。	14,988	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
39	県警音楽隊派遣	再掲	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数127日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計241回の演奏を行った。(令和7年1月～令和7年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	警察本部	
40	県立美術館・博物館教育普及事業	再掲	来館者による自主的な展示観覧以外の博物館活動で、講座・観察会や、ワークショップ、展示解説会などを通して県民サービスの向上を図る。また、博物館活動を支えるボランティア等の運用のほか、館の活動成果を周知するための刊行物作成等を実施する。 また、フィールドミュージアムで地域の自然や文化そのものを「資料」ととらえ、野外でそれらに直接触れ、学び、楽しむことを目的とした博物館活動を実施する。	中央博物館: 観察会5回(うち1回雨天中止)、参加人数計111人 教室博物館: 24日開館、来館者200人 海の博物館: 観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・体験コーナー・みんなで工作などの主催行事のほか、学校や団体からの求めに応じて実施する野外実習授業や団体フィールドトリップ等を実施、参加人数計3,510人 関宿城博物館: 城下を歩こう(城下町コース、河川コース)・河川敷のいきものががし、参加人数計76人	県民が芸術文化に親しむことができるよう、観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・工作など、各館のテーマや研究員の専門的知見に応じた多彩な博物館活動を実施することができた。	10,404	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
41	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法: 公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計): 564,179名 ・利用事業数(4館合計): 3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組9 学校教育における文化芸術活動の充実								
42	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業		小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容: 洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期: 通年 ・派遣先: 県内小中学校26校 (洋楽: 5校/伝統芸能(能楽7校・雅楽8校・三曲6校): 21校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,311	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

③子ども・若者の文化芸術活動の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組9 学校教育における文化芸術活動の充実								
43	部活動に関する事業(芸術家や文化芸術団体等と協力して児童生徒が指導を受ける機会の提供、部活動の地域移行含む)		千葉交響楽団のメンバーが県内小中学校を訪問し、吹奏楽部の児童生徒を対象に指導助言する。	令和7年度は県内5校で実施。 八千代市大和田中学校 我孫子市立久寺家中学校 栄町立栄中学校 山武市立山武望洋中学校 木道市立君津津中学校	文化芸術に触れる機会を創出することを意識して、楽器に触れたり、演奏指導を受ける場面を設定した。	-	教育庁	学習指導課
44	地域クラブ活動体制整備事業(R5・R6部活動の地域移行に向けた体制整備事業)		令和5年度から3年間を改革推進期間とする休日の部活動の段階的な地域移行に向け、関係者との連絡調整・指導助言等の体制整備、運営団体・実施主体の整備、指導者の確保等に関する実証事業を実施するとともに、進捗状況を把握し、地域クラブ活動の展開につなげた。また、令和5年3月に千葉県が策定した「地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」(千葉県)で示された推進計画の実現を図るため、課題となる人材確保に資する県の推進体制を整備する。	県において、地域展開に係る協議会の運営や人材バンクの運用、人材発掘に取り組むブレフ(統括)コーディネーターを配置し、進捗状況の把握および助言を行った。また、7市町が実証事業に参加し、それぞれの計画に基づき事業を推進した。	それぞれの自治体で、計画書を基に進めることができた。	6,640	教育振興部	学習指導課
45	学校図書館活用推進に関する事業		学校図書館が持つ「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能を充実させ、学校図書館の活用推進を図る。	優良・優秀学校図書館の認定を行った。また、「学校図書館活用研修会」や「学校図書館・公立図書館連携研修会」を実施した。	小・中・高校合わせて、優良図書館に20校、優秀図書館に20校を新たに認定した。 学校図書館活用研修会に136名が参加した。	0	教育振興部	学習指導課
46	小学校専科非常勤講師等配置事業(技能教科専科指導員の配置)		児童の学力及び学習意欲等の向上を目指し、専門的な教科指導の充実や質の高い授業づくりを行うため、県独自に専科教員等を小学校へ配置する。	県独自に専科教員等を170校(算数44校、理科47校、図工39校、体育40校)に配置した。	配置予定180校のところ、10校分の講師が見つからなかった。人材確保が課題であり、募集方法の工夫や説明会開催を継続して行う。	391,623	教育振興部	教職員課
取組10 子ども・若者が文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供								
47	OLC連携事業		「千葉県と株式会社オリエンタルランドとの文化芸術等に関する包括連携協定」は、令和5年1月に千葉県と株式会社オリエンタルランドが締結した協定であり、子どもたちの夢と未来を育み、郷土への誇りと愛着を高めるため、本協定による活動を推進し、千葉県の一層の活性化に資することを目的としている。 令和5年度には千葉県誕生150周年記念パレード、令和6年度にはファンタジースプリングスプレビューを実施したほか、「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小中学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室、職業講演会、技術系ワークショップなど、様々な事業を展開している。	「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室などのほか、新たな事業として、千葉県内の高等学校等に通う生徒等を対象に、株式会社オリエンタルランドにおいて「技術系ワークショップ」を実施した。	各種事業の実施を通じて、協定の目的となる「子どもたちの知的好奇心」や思いやりの心を育む「心の育成」に寄与することができた。	4,529	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
48	軽音楽振興事業		全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	①第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 8月2日に青葉の森公園芸術文化ホールにて「第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会」決勝を実施した。(24バンド参加) ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 12月24日に千葉県文化会館で「第14回千葉県高等学校軽音楽コンテスト」決勝を実施した。(25バンド参加)	若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図った。	1,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
49	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業		国内最大の音楽フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」の本県開催を好機として、県内の音楽文化の振興を図るため、県内の若者が出演できる場をオープニングアクトとして設け、出演者を決定するオーディションと県内の高校生にイベントの会場や舞台裏を見学してもらうバックヤードツアーを実施する。 また、より多くの県民に若者の音楽文化に触れる機会を提供するため、最終審査を青葉の森公園芸術文化ホールで実施し、入場無料で一般公開する。	○オーディション ・応募組数:約170組 ・優勝者:4組 ○最終公開オーディション ・応募総数:613名 ・観覧者数:318名 ○バックヤードツアー ・応募総数:106名 ・参加者:49名	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」オープニングアクトオーディションを実施することで、県内の若手バンド、アーティストの活躍の機会の創出と県内の音楽文化の振興に寄与した。	4,289	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

③子ども・若者の文化芸術活動の充実									
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名		
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)	
取組10 子ども・若者が文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供									
50	商業施設連携(ちばミライ文化祭)	再掲	○千葉県誕生150周年を契機として、県内に大型商業施設を持つ企業等と連携して取組を行ってきたが、記念事業終了後も各社との連携を千葉の魅力発信に活かすため、各社を「ちばミライパートナー」と称し、取組を行っている。「ちばミライパートナー」との連携企画の一つとして、令和5年度から「ちばミライ文化祭」を開催している。 ○「ちばミライ文化祭」とは、千葉のミライを担う県内中学校、高等学校の生徒たちが、県内の大型商業施設等でコンサートやパフォーマンス、作品展などを実施し、日頃の部活動の成果を発表するもの。	「ちばミライ文化祭2025」 ・期間：令和7年10月4日～11月24日 ・参加数23校・26団体 (令和7年度初参加校6校、初参加部活9団体) ・会場数15施設	新規参加校及び参加団体の増加により、より多くの学生に部活動の成果発表の場を提供することができたことに加え、多くの来場者に対して学生のパフォーマンスに触れる機会を提供した。 さらに、ポスターデザインを千葉大学に依頼し、制作段階から学生が参画することで、文化祭としての一体感及び魅力の向上に資する取組となった。	435	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課	
51	愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール)		鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)、表彰式(8月)、入賞作品の展示(8月～)	ポスターコンクールを通じて、鳥獣保護思想の普及啓発を図り、また環境保全への関心を広く理解してもらうため、入賞作品を展示した。	1,076	環境生活部	自然保護課	
52	全日本中学生水の作文コンクール		「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	県内各地から234編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞2校を選定した。 (主催者：水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ：「水について考える」、募集対象者：県内在住・在学の中学生、募集期間：令和6年11月18日～令和7年5月9日、応募数：234編 2. 表彰 千葉県庁本庁舎5階大会議室にて表彰式を実施。 3. 作品の展示・公表 「水の週間」である8/1～8/7に県庁1階連絡通路及び19階掲示板に受賞作品を展示。また、コンクールの様子や受賞作品を県HPに公表。	本コンクールを実施することで、中学生の子ども達が文化芸術活動に参加できる機会を提供した。 また、受賞作品を展示及びHP上に公表するなど、芸術作品を鑑賞する機会を提供することで、あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくりに寄与した。	72	総合企画部	水政課	
53	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール		県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 小学校低学年9,048点、小学校高学年6,526点、中学校470点、特別支援学校・学級444点 (2)募集期間 4月15日から7月31日まで (3)目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(8月21日・11月13日) (1)小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会会長賞1名 (2)特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会会長賞3名	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品15点については知事賞や教育長賞等を授与し、口腔保健に関する正しい地域の普及啓発や県民の健康の保持増進に寄与することができた。	0	健康福祉部	健康づくり支援課	
54	心の輪を広げる障害者理解促進事業	再掲	障害のある人に対する理解の促進を図るため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分、計31作品) 【ポスター】小学生・中学生(2区分、計13作品) (2)募集期間 7月1日から9月5日まで (3)目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 知事最優秀賞(5区分、5名)、知事優秀賞(6区分、6名)、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞(3区分、3名)の計14名を表彰 ・ 令和7年11月19日(水)に青葉の森公園芸術文化ホールで開催された、第57回千葉県身体障害者福祉大会において表彰を行った。 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦した。	募集テーマに則った作文やポスター作品を応募いただき、優秀作品を表彰するなどにより、障害のある人に対する理解を促進することができた。	—	健康福祉部	障害者福祉推進課	

③子ども・若者の文化芸術活動の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組10 子ども・若者が文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供								
55	若年層対策献血啓発事業		中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	1 作品募集 (1)対象・応募数 県内中学校・高等学校に在学中の生徒(中学生277点、高校生136点) (2)募集期間 7月1日～9月3日 (3)目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・10月29日(水)、千葉県献血功労者・献血推進啓発作品表彰式で表彰 ・知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用	多くの生徒に作品を応募いただくとともに、優秀作品を表彰するなどにより、献血の意識付け、啓発を行うことができた。	196	健康福祉部	薬務課
56	交流の作文コンクール事業	再掲	心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒(出品校7校、応募作品総数48点) (2)募集期間 8月1日から10月17日まで (3)目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会(入賞者決定、11月28日)・表彰(2月22日) ・入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。 ・千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。 ・県庁舎で作品を展示した。	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品9点については、知事賞や教育長賞等を授与し、表彰式が報道される等、県民の障害者への理解を広めることができた。	272	健康福祉部	障害者福祉推進課
57	高等学校文化連盟補助		国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	以下の事業が補助金の対象である。 ①千葉県高等学校総合文化祭開催事業(参加30,976人) 演劇、合唱、吹奏楽、放送、写真、美術・工芸、将棋等 ②全国高等学校総合文化祭派遣事業(395人) ③全国大会・関東大会派遣事業(169人) ④講習会・研修会開催事業(1,567人) ⑤専門部会・理事会開催事業(500人)	千葉県高等学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭への派遣等の補助を実施し、生徒が文化芸術に触れる機会を創出した。	15,245	教育庁	学習指導課
58	千葉県少年少女オーケストラ育成事業		(公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・8月には、(公財)日本音楽財団との協働事業として合奏クリニックを開催した。 ・3月には、千葉県文化会館で公開リハーサル及び定期演奏会を実施した。 ・定期演奏会の様子をテレビ及びラジオで放送した。	次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	49,073	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
59	県立美術館・博物館教育普及事業(夏休みこどもアトリエ事業)		夏休み期間、アトリエ棟を小学生・中学生・高校生らが図工・美術の宿題をしたり、自由に創作活動に専念できる場として開放する。	「ぐるぐる?アート夏やすみ」を7月19日～8月31日に開催した。千葉県出身のアーティストによるワークショップ等のプログラムを実施し計756人の参加があった。	リピーターも見られ、子どもや親子が気軽に美術館に来るという目的が達成された。ボランティアである当館ミュージアム・サポーターの協力により、参加者の子ども達や、保護者・大学生・シニアなど世代をこえた交流が生まれた。	305	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

④文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組11 文化芸術活動の担い手の発掘・育成								
60	県立美術館国際文化交流事業		千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市が姉妹都市提携を結び、令和6年度で5周年となることを記念し、デュッセルドルフ市からの提案に基づき、互いにアーティストを派遣し滞在制作(Artist in Residence)を行ってもらい、国際的な文化交流を進める。	10月23日～12月17日にデュッセルドルフからのアーティスト1名を受け入れ、滞在中に開催したイベントに計54名が参加した。	アーティスト歓迎会や成果展オープニングを通じて、県ゆかりのアーティストや県内及び近郊レジデンス関係者、国際交流事業関係者等との交流が広がり、美術館を中心とした文化・国際交流の輪が作られた。	13,505	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
61	アーティスト・フォローアップ(モデル)事業		既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	①第2期 4分野5名の支援対象アーティストに対し、令和7年4月から令和8年2月にかけて資金支援及び相談支援等を行った。また、アーティストの成果発表として令和8年3月に千葉県立美術館において成果展を開催した。 ②第3期 応募のあった94件の中から、計8名のアーティストを選定した。	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	25,751	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
62	青少年水産教室漁業士派遣事業		青少年に本県水産業への理解と親しみを深めてもらうとともに、将来における漁業就業の一助とするため、小中学校又は高等学校等が開催する青少年水産教室の開催支援として、県内各地で漁業者のリーダーとして活躍している漁業士を講師として派遣する。	水産教室への漁業士派遣 延べ10名	本県水産業への理解を深めてもらうため、漁業士が講師となり、水産業に関する講話や漁業体験を実施した。	50	農林水産部	水産局水産課
63	表彰の実施		千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	令和7年度推薦(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名、1団体 ・社会教育功労者表彰(文部科学省):個人1名 ・叙勲(内閣府):個人1名	被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。	-	環境生活部 教育庁	スポーツ・文化局文化振興課 文化財課
64	千葉交響楽団による活動等		千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	・主催公演:9公演(定期演奏会3回、特別演奏会6回)	子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。	49,647	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
65	文化振興事業の後援		県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	名義後援を141件行った。	県民の文化芸術活動の支援に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
66	著作権の普及啓発	再掲	関係各課からの著作権に係る問合せ等に回答するほか、必要に応じて専門団体(公益社団法人著作権情報センター)を案内し、著作権制度の普及啓発に取り組む。	関係各課からの著作権に係る問合せ等に回答するほか、必要に応じて専門団体(公益社団法人著作権情報センター)を案内し、著作権制度の普及啓発に取り組んだ。	問合せの内容に応じて、専門団体の連絡先を紹介する等、適切に対応した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
67	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校26校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽7校・雅楽8校・三曲6校):21校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,311	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組12 文化芸術を支える人材の確保・育成と活用								
68	公立文化施設担当者研修会		県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	県内の文化施設の設置及び運営者に対し、研修会を開催した。 日時:令和8年1月28日(水) 会場:千葉県文化会館 テーマ:『地方公立ホールの広報 基礎編』 講師:宮城県文化振興財団 新県民会館開館準備室 林 健次郎 室長 参加者:27名	本事業の実施により、文化施設の管理運営に携わる職員等の育成・能力の向上を図ることができた。	17	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
69	文化活動ボランティアネットワーク		文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:76件 ・文化活動ボランティア依頼件数:87件(うち成立数37件)	文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組13 若者による創造的な文化芸術活動への支援								
70	文化芸術のミライ応援補助金		将来を担う若者による文化芸術活動の推進を図るため、若者が主体となって参加して実施する事業に対し助成する。	「文化芸術のミライ応援補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:39歳以下の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付者数(個人・団体):【申請数】9者9事業/【交付数】5者5事業	5者5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	801	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

④文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組13 若者による創造的な文化芸術活動への支援								
71	アーティスト・フォローアップ (モデル)事業	再掲	既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	①第2期 4分野5名の支援対象アーティストに対し、令和7年4月から令和8年2月にかけて資金支援及び相談支援等を行った。また、アーティストの成果発表として令和8年3月に千葉県立美術館において成果展を開催した。 ②第3期 応募のあった94件の中から、計8名のアーティストを選定した。	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	25,751	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
72	軽音楽振興事業	再掲	全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	①第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 8月2日に青葉の森公園芸術文化ホールにて「第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会」決勝を実施した。(24バンド参加) ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 12月24日に千葉県文化会館で「第14回千葉県高等学校軽音楽コンテスト」決勝を実施した。(25バンド参加)	若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図った。	1,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
73	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業	再掲	国内最大の音楽フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」の本県開催を好機として、県内の音楽文化の振興を図るため、県内の若者が出演できる場をオープニングアクトとして設け、出演者を決定するオーディションと県内の高校生にイベントの会場や舞台裏を見学してもらうバックヤードツアーを実施する。 また、より多くの県民に若者の音楽文化に触れる機会を提供するため、最終審査を青葉の森公園芸術文化ホールで実施し、入場無料で一般公開する。	○オーディション ・応募組数:約170組 ・優勝者:4組 ○最終公開オーディション ・応募総数:613名 ・観覧者数:318名 ○バックヤードツアー ・応募総数:106名 ・参加者:49名	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」オープニングアクトオーディションを実施することで、県内の若手バンド、アーティストの活躍の機会の創出と県内の音楽文化の振興に寄与した。	4,289	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑤文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実・多面的な活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組14 文化芸術活動拠点としての利用環境の充実								
74	県立図書館事業		①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用⑤読書バリアフリーの普及を行う。	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。(令和5年3月にシステム更新) ・ホームページのアクセス数:511,407件 ・Web予約件数:61,936件 ・個人貸出冊数:90,842冊 ・図書館等への協力貸出:106,923冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,143冊(中4,666、西3,680、東2,797)を購入整備した。 ・電子書籍購入(R6.5月電子書籍サービス導入) R7年度新規763点(累計5,613点)(読み上げ機能付き、オーディオブック含む) ③ー1 読み聞かせボランティア指導者養成講座 ・期間:8月20日、12月7日 ・回数:2回 ・場所:総合教育センター、館山市中央地区学習等併用施設 菜の花ホール ・参加者(合計):高校職員(11名)、一般図書館職員(15名) ③ー2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:19校20回 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,405名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて191,686冊の貸出しを行った。 ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、サビエ図書館活用講座 ・期間:通年 ・回数:4回 ・場所:中央図書館、東部図書館、印西市 ・参加者(合計):107名(中読バリ41、中サビ13、西23、東27)	県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。	172690	教育庁	生涯学習課
75	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業		「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 令和7年度年間利用者数 102,750名	高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の場を提供した	97,243	健康福祉部	高齢者福祉課

⑤文化施設等（文化会館、美術館・博物館等）の機能の充実・多面的な活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 （千円）	部局名	課名（局名）
取組14 文化芸術活動拠点としての利用環境の充実								
76	県立学校施設開放事業		県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	実施場所6校（文化施設5校、交流施設1校）	全ての学校において、施設開放を実施することができた。 匝瑳高校の交流施設は、教室への施設改修のため施設開放の指定をしなかった。	1,767	教育庁	生涯学習課
77	千葉県文化会館大規模改修事業		千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策（エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化）、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。	滞りなく令和7年4月10日に引渡し完了し同年7月にリニューアルオープンを迎えた。	既存の意匠を踏襲しながら、バリアフリー対策等を行い、利用者等に対するサービスの向上を図った。	4,810,070	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
78	県立美術館・博物館事業	再掲	県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
79	県立美術館・博物館教育普及事業（芸術団体による展示等）	再掲	来館者による自主的な展示観覧以外の博物館活動で、講座・観察会や、ワークショップ、展示解説会などを通して県民サービスの向上を図る。また、博物館活動を支えるボランティア等の運用のほか、館の活動成果を周知するための刊行物作成等を実施する。 また、フィールドミュージアムで地域の自然や文化そのものを「資料」ととらえ、野外でそれらに直接触れ、学び、楽しむことを目的とした博物館活動を実施する。	中央博物館：観察会5回（うち1回雨天中止）、参加人数計111人 教室博物館：24日開館、来館者200人 海の博物館：観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・体験コーナー・みんなで工作などの主催行事のほか、学校や団体からの求めに応じて実施する野外実習授業や団体フィールドトリップ等を実施、参加人数計3,510人 関宿城博物館：城下を歩こう（城下町コース、河川コース）・河川敷のいきものががし、参加人数計76人	県民が芸術文化に親しむことができるよう、観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・工作など、各館のテーマや研究員の専門的知見に応じた多彩な博物館活動を実施することができた。	10,404	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
80	県立博物館機能強化・魅力向上検討事業		令和2年9月策定の「千葉県立博物館の今後の在り方」で示された、県立博物館の機能を中央博物館に集約する方針や今後の運営指針となる「千葉県立中央博物館みらい計画」に基づき、中央博物館を県内博物館活動の拠点として機能強化を図り、魅力を向上させる。	県立中央博物館の機能強化及び魅力向上の一環として、外部有識者による「千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会」を2回開催し、中央博物館の新棟候補地や必要となる建物の機能、博物館の運営方針等について検討を行った。 また、リニューアル工事の時期を検討するため、現在の中央博物館の建物の劣化度調査を実施した。	リニューアル計画や「千葉県立中央博物館実施計画」に基づく各事業について、有識者より忌憚のない意見をいただき、「あらゆる人に開かれた博物館」の実現に向けた機能や方針を、事業計画に取り入れることができた。	16,114	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
81	県立美術館・博物館整備事業		県立美術館・博物館について、博物館施設の適切な修繕等により維持保全を図る。	日頃より施設・設備の劣化状況の把握に努めるとともに、計画的に修繕や工事を進めた。	予算化された事項は速やかに執行し、突発的な不具合については状況把握の上、速やかに必要な予算を措置した。	250,501	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組15 文化施設等における多様な利用者に対応する環境の整備								
82	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数（4館合計）：564,179名 ・利用事業数（4館合計）：3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑤文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実・多面的な活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組15 文化施設等における多様な利用者に対応する環境の整備								
83	県立図書館事業	再掲	①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用⑤読書バリアフリーの普及を行う。	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。(令和5年3月にシステム更新) ・ホームページのアクセス数:511,407件 ・Web予約件数:61,936件 ・個人貸出冊数:90,842冊 ・図書館等への協力貸出:106,923冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,143冊(中4,666、西3,680、東2,797)を購入整備した。 ・電子書籍購入(R6.5月電子書籍サービス導入) R7年度新規763点(累計5,613点)(読み上げ機能付き、オーディオブック含む) ③ー1 読み聞かせボランティア指導者養成講座 ・期間:8月20日、12月7日 ・回数:2回 ・場所:総合教育センター、館山市中央地区学習等併用施設 菜の花ホール ・参加者(合計):高校職員(11名)、一般図書館職員(15名) ③ー2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:19校20回 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,405名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて191,686冊の貸出しを行った。 ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、サピエ図書館活用講座 ・期間:通年 ・回数:4回 ・場所:中央図書館、東部図書館、印西市 ・参加者(合計):107名(中読バリ41、中サピ13、西23、東27)	県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。	172690	教育庁	生涯学習課
84	千葉県文化会館大規模改修事業	再掲	千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策(エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化)、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。	滞りなく令和7年4月10日に引渡し完了し同年7月にリニューアルオープンを迎えた。	既存の意匠を踏襲しながら、バリアフリー対策等を行い、利用者等に対するサービスの向上を図った。	4,810,070	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組16 芸術家・文化人や文化芸術団体、県民、市町村との交流・連携の強化								
85	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):564,179名 ・利用事業数(4館合計):3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
86	県立博物館連携事業		分館の集約によって、県立博物館へのアクセスが困難になってしまう地域を中心に、学校が気軽に博物館を利用できるようにするための事業を実施するほか、研究員による出前展示を実施する。また、全国の博物館ネットワークにおける連携、外部有識者からの助言・指導を定期的にもらう機会を設け、博物館活動の研鑽を実施する。	中央博物館では、出前展示(学習キット貸出)を43件実施し、計2,614人が利用。博物館協議会を3回開催。 現代産業科学館では、展示会に14の会員団体が出展、実験・工作教室は9会員、サイエンスショーは5会員が実施。	中央博物館では、様々な学習キットを提供することで、博物館に来館できなくても博物館を活用できる環境を提供した。博物館協議会を3回開催し、有識者からの助言・指導を受け、今後の博物館活動の方針策定の参考とした。 現代産業科学館では、展示会への来館者も多く、実験・工作教室やサイエンスショーも家族連れなど幅広い年齢層が参加し、好評を得た。	339	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
87	県立美術館・博物館企画展等展示事業(移動美術館等)	再掲	県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑤文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実・多面的な活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組17 文化施設等の学校教育や他分野での活用促進								
88	県立美術館・博物館教育普及事業(スクールプログラム等)	再掲	来館者による自主的な展示観覧以外の博物館活動で、講座・観察会や、ワークショップ、展示解説会などを通して県民サービスの向上を図る。また、博物館活動を支えるボランティア等の運用のほか、館の活動成果を周知するための刊行物作成等を実施する。 また、フィールドミュージアムで地域の自然や文化そのものを「資料」ととらえ、野外でそれらに直接触れ、学び、楽しむことを目的とした博物館活動を実施する。	中央博物館：観察会5回(うち1回雨天中止)、参加人数計111人 教室博物館：24日開館、来館者200人 海の博物館：観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・体験コーナー・みんなで工作などの主催行事のほか、学校や団体からの求めに応じて実施する野外実習授業や団体フィールドトリップ等を実施、参加人数計3,510人 関宿城博物館：城下を歩こう(城下町コース、河川コース)・河川敷のいきものさがし、参加人数計76人	県民が芸術文化に親しむことができるよう、観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・工作など、各館のテーマや研究員の専門的知見に応じた多彩な博物館活動を実施することができた。	10,404	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
89	県立博物館連携事業(出前展示等)	再掲	分館の集約によって、県立博物館へのアクセスが困難になってしまう地域を中心に、学校が気軽に博物館を利用できるようにするための事業を実施するほか、研究員による出前展示を実施する。また、全国の博物館ネットワークにおける連携、外部有識者からの助言・指導を定期的にもらう機会を設け、博物館活動の研鑽を実施する。	中央博物館では、出前展示(学習キット貸出)を43件実施し、計2,614人が利用。博物館協議会を3回開催。 現代産業科学館では、展示会に14の会員団体が出展、実験・工作教室は9会員、サイエンスショーは5会員が実施。	中央博物館では、様々な学習キットを提供することで、博物館に来館できなくても博物館を活用できる環境を提供した。博物館協議会を3回開催し、有識者からの助言・指導を受け、今後の博物館活動の方針策定の参考とした。 現代産業科学館では、展示会への来館者も多く、実験・工作教室やサイエンスショーも家族連れなど幅広い年齢層が参加し、好評を得た。	339	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
90	県立文化会館自主事業・管理運営事業(アウトリーチ)	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：564,179名 ・利用事業数(4館合計)：3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑥持続可能な文化芸術活動の推進								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組18 文化芸術分野において環境負荷の低減を意識した活動の推進								
91	千葉県文化会館大規模改修事業	再掲	千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策(エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化)、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。	滞りなく令和7年4月10日に引渡し完了し同年7月にリニューアルオープンを迎えた。	既存の意匠を踏襲しながら、バリアフリー対策等を行い、利用者等に対するサービスの向上を図った。	4,810,070	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
92	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：564,179名 ・利用事業数(4館合計)：3,210件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	令和7年7月に千葉県文化会館がリニューアルオープンしたことから、さらに多くの方に利用され、事業数も増加した。 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	687,690	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
93	県立美術館・博物館照明LED化事業		内閣府の「エネルギー基本計画」及び千葉県庁エコオフィスプランでは、2030(令和12年)をLED化の目標としていることから、県立美術館・博物館の全照明機器について、計画的にLED化を実施する。	館ごとに計画を立て、照明器具のLED化への改修工事を進めた。	館ごとに計画に基づき、LED化を進めた。	43,457	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
94	千葉県建築文化賞	再掲	安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門：一般建築物の部、住宅の部、募集期間：7月1日～9月30日 作品応募数：48作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞3点、計8点を表彰した。 3. 表彰式 令和7年3月17日に本庁舎5階大会議室で、表彰式を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,248	県土整備部	建築指導課
取組19 文化芸術活動推進にあたっての多様な財源確保方策の周知等								
95	アーティスト・フォローアップ(モデル)事業	再掲	既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	①第2期 4分野5名の支援対象アーティストに対し、令和7年4月から令和8年2月にかけて資金支援及び相談支援等を行った。また、アーティストの成果発表として令和8年3月に千葉県立美術館において成果展を開催した。 ②第3期 応募のあった94件の中から、計8名のアーティストを選定した。	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	25,751	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
96	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：1,430,294人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

施策の柱2 文化芸術を通じた連携・協働
～文化芸術を通じたネットワークの構築や他分野との連携を行うことで地域の活性化を目指します～

①様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築、文化交流の推進

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組20 文化芸術関係者のネットワークの構築促進と活性化の推進								
97	ネットワークの構築		文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数:2回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。	196	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
98	文化芸術推進基本計画推進事業		県の文化芸術の振興のため、県内で創造的・先進的な文化芸術活動に取り組む団体・法人・個人等からなる「千葉県文化芸術推進懇談会」を開催し、文化芸術活動の現状や件の取組に関する意見をいただき、「第2次千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗管理を行う。 また、文化芸術に関する施策について、県の施策の情報提供と市町村の施策の状況や課題についての情報交換を行う。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数:2回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等) 【市町村文化行政主管課長会議】の開催 ・開催回数:1回	千葉県文化芸術推進懇談会では、県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。 市町村文化行政主管課長会議では、市町村の担当者向けに県の文化振興施策についての説明等を行った。	196	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
99	千葉県芸術文化団体協議会		昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	【芸術文化フォーラム】日程:2月7日、場所:青葉の森公園芸術文化ホール 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により13名を表彰。1名に感謝状。 【芸文教ちば】1回発行(3月)	・芸術文化フォーラム:県内文化団体の発表・相互理解の場となった。 ・文化芸術功労表彰:功労者表彰が行われ、文化の振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
100	県立美術館・博物館活性化事業(資料のデジタル化)	再掲	県立美術館・博物館の環境整備等を実施することにより利用環境を改善し、県民が快適に利用できる環境づくりを目指す。	美術館では、デジタルコンテンツ「コレクション100選」を作成し100作品分の解説・高精細画像を公開した。加えて、所蔵作品180件の高精細画像を撮影した。また、中央博物館では10,537点のデジタル化を行った。	デジタル化した古写真等のデータをデータベース上に登録することにより、だれもが博物館資料に気軽にアクセスできるようになり、それに伴ってマスコミ等による資料の活用件数が増加した。 コレクションの魅力や研究成果をあらゆる人々が身近な環境の中で触れられる場面を創出するため、デジタル技術を活用してオンライン上で公開することができた。	6,005	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
101	OLC連携事業	再掲	「千葉県と株式会社オリエンタルランドとの文化芸術等に関する包括連携協定」は、令和5年1月に千葉県と株式会社オリエンタルランドが締結した協定であり、子どもたちの夢と未来を育み、郷土への誇りと愛着を高めるため、本協定による活動を推進し、千葉県の一層の活性化に資することを目的としている。 令和5年度には千葉県誕生150周年記念パレード、令和6年度にはファンタジースプリングスプレビューを実施したほか、「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小中学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室、職業講演会、技術系ワークショップなど、様々な事業を展開している。	「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室などのほか、新たな事業として、千葉県内の高等学校等に通う生徒等を対象に、株式会社オリエンタルランドにおいて「技術系ワークショップ」を実施した。	各種事業の実施を通じて、協定の目的となる「子どもたちの知的好奇心」や思いやりの心を育む「心の育成」に寄与することができた。	4,529	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
102	子どもの読書活動の推進		「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。 主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要:家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。 配付時期:令和7年10月 配付対象:乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数:(乳幼児向け)37,510部(小学生向け)44,170部 計82,220部 ○令和7年度「千葉県子ども読書の集い」 概要:子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程:令和7年8月26日(火) 場所:イオンモール幕張新都心グランドモール 1階グランドコート 3階イオンモール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民等(510名・入場無料) ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程:令和8年3月30日(月)～令和8年5月15日(金)オンデマンド配信 対象者:学校図書館関係者 公立図書館関係者 行政職員等	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 計画通り、家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法等を工夫したい。 ○令和7年度「千葉県子ども読書の集い」 子どもの読書活動の意義や重要性について啓発するとともに、絵本の読み聞かせについて、新たな気づきや情報、視点を得られることができた。 次年度は来場者数を増やすために開催日程を検討する ○学校図書館・公立図書館連携研修会 図書館からの情報提供を動画配信したことで、県内の学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、次年度意向の学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。	1,018	教育庁	生涯学習課

①様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築、文化交流の推進								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組20 文化芸術関係者のネットワークの構築促進と活性化の推進								
103	県立図書館事業	再掲	①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用⑤読書バリアフリーの普及を行う。	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。(令和5年3月にシステム更新) ・ホームページのアクセス数:511,407件 ・Web予約件数:61,936件 ・個人貸出冊数:90,842冊 ・図書館等への協力貸出:106,923冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,143冊(中4,666、西3,680、東2,797)を購入整備した。 ・電子書籍購入(R6.5月電子書籍サービス導入) R7年度新規763点(累計5,613点)(読み上げ機能付き、オーディオブック含む) ③ー1 読み聞かせボランティア指導者養成講座 ・期間:8月20日、12月7日 ・回数:2回 ・場所:総合教育センター、館山市中央地区学習等併用施設 菜の花ホール ・参加者(合計):高校職員(11名)、一般図書館職員(15名) ③ー2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:19校20回 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,405名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて191,686冊の貸出しを行った。 ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、サビエ図書館活用講座 ・期間:通年 ・回数:4回 ・場所:中央図書館、東部図書館、印西市 ・参加者(合計):107名(中読バリ41、中サビ13、西23、東27)	県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。	172690	教育庁	生涯学習課
104	無形民俗文化財公開普及事業		国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和7年度房総の郷土芸能」をいすみ市岬ふれあい会館で令和8年1月25日に開催した。夷隅・長生地域の6つの民俗芸能団体が出演、一般県民等470名の来場者(入場無料)があった。 ・「千葉県の無形民俗文化財」21号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りで見られない郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	1,492	教育庁 教育振興部	文化財課
取組21 国際交流を通じたネットワークの構築促進と地域活性化								
105	デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ		デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、和服体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。 日時:令和7年9月24日～25日 人数:7名(奨学生6名、引率兼通訳1名) 内容: ①成田山新勝寺訪問。 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。 ③「見浜園」で茶道体験などを実施	①千葉県の伝統ある名所を訪問し、日本の文化を感じていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和装の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいたことができた。 ③茶のたて方、飲み方、歴史等について学んでいたことができた。	202	総合企画部	国際課
106	県立美術館国際文化交流事業	再掲	千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市が姉妹都市提携を結び、令和6年度で5周年となることを記念し、デュッセルドルフ市からの提案に基づき、互いにアーティストを派遣し滞在制作(Artist in Residence)を行ってもらい、国際的な文化交流を進める。	10月23日～12月17日にデュッセルドルフからのアーティスト1名を受け入れ、滞在期間中に開催したイベントに計54名が参加した。	アーティスト歓迎会や成果展オープニングを通じて、県ゆかりのアーティストや県内及び近郊レジデンス関係者、国際交流事業関係者等との交流が広がり、美術館を中心とした文化・国際交流の輪が作られた。	13,505	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

①様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築、文化交流の推進

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組22 多様性を尊重した文化芸術交流活動の促進								
107	OLC連携事業(子どものワークショップ)	再掲	「千葉県と株式会社オリエンタルランドとの文化芸術等に関する包括連携協定」は、令和5年1月に千葉県と株式会社オリエンタルランドが締結した協定であり、子どもたちの夢と未来を育み、郷土への誇りと愛着を高めるため、本協定による活動を推進し、千葉県の一層の活性化に資することを目的としている。 令和5年度には千葉県誕生150周年記念パレード、令和6年度にはファンタジースプリングスプレビューを実施したほか、「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小中学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室、職業講演会、技術系ワークショップなど、様々な事業を展開している。	「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室などのほか、新たな事業として、千葉県内の高等学校等に通う生徒等を対象に、株式会社オリエンタルランドにおいて「技術系ワークショップ」を実施した。	各種事業の実施を通じて、協定の目的となる「子どもたちの知的好奇心」や思いやりの心を育む「心の育成」に寄与することができた。	4,529	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
108	障害者芸術文化活動支援事業	再掲	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施事業:障害者による文化芸術活動に関する相談受付(61件) 障害当事者や支援者向けの人材育成研修及びワークショップの実施(実施件数:11回、参加者数:519人(延べ数)) ・展覧会等:1月20日～2月1日(展示作品数:470点) 期間中会場を訪れた人数:2,979人 ・巡回による作品展示:県内公共施設等10箇所、ファミリーマート店舗5箇所 ・バリアフリー演劇鑑賞会 計2回 累計鑑賞者数:365人	「相談受付」、「人材育成講座の開催」、「ネットワークの構築」、「発表等の機会の創出」、「情報収集・発信」の活動により、障害者による文化芸術活動の振興に寄与した。	13,499	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
109	県民の日事業		県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティーを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①本県の「発酵県」としての魅力を発信するため、発酵にゆかりのある香取市において県民の日中央行事を実施した。 ・ちばみんフェス2025in香取 日時:6月15日 10:00～16:00 会場:香取市佐原文化会館、香取市民体育館、みんなの賑わい交流拠点コンパスほか ②地域行事:11件 ③賛同行事:計76者	①当日は約25,000人が来場し、発酵文化を体験できるワークショップやマルシェ、グルメ販売のほか、「佐原の大祭」の山車の特別曳き廻しの実施など、本県の「発酵県」としての魅力や地域の文化を多くの方に発信できた。 ②地域行事については、昨年度に引き続き、地域の魅力を発信できるような企画が考案・実施された。	46,023	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
110	千葉・県民文化祭	再掲	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数:全29件、期間:令和7年6月22日～令和8年1月14日、場所:県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど(全県)、関係者:文化芸術団体(全28団体)、来場者(合計):57,636人 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 中央行事 日程:10月19日(日)場所:千葉県文化会館、関係者:((公財))千葉県文化振興財団・出演者・出品者等(300名)、来場者:一般県民等(1,154名・入場無料) ちば文化資産アウトリーチコンサート 日程:9月5日 場所:千葉県立美術館 来場者:150名	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	10,570	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

②観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組23 本県固有の歴史・伝統・食文化等と観光の連携促進								
111	「ちば文化資産」PR事業		○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間：2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
112	県立房総のむら指定管理業務委託		房総のむらの博物館事業に関する業務、施設等の管理・運営に関する業務、自主事業を指定管理者へ委託し、利用者にサービスを提供するとともに、文化芸術の振興に関する事業をおこなう。	指定管理者である千葉県教育振興財団へ管理運営業務を委託した。考古、民俗、歴史分野の企画展示を計3回、体験・実演等を年間435件実施した。他機関との連携としては、航空科学博物館と芝山町立芝山古墳・はにわ博物館との「3館合同スタンブラリー」、ちば部と連携した探索型ミステリー「房総のむらの事件簿」を開催した。このほか夏季4日間の開館時間延長を行った。	展示や体験・実演によって、房総の歴史や、伝承されてきた暮らしの中の技術に触れる機会を提供した。連携事業のスタンブラリーによって、房総のむらやはにわ博物館では来場者の獲得に繋がったとみられ、他機関との連携による効果を得ることができた。	474,485	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
113	千葉県フィルムコミッション運営事業		映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、85件の撮影が県内で行われた。 ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。 ・各市町村との連携やロケツーリズムの推進を図るため、市町村担当者会議を開催したところ、35市町村43名の参加があった。	・85件の撮影が県内で行われ、千葉県の文化芸術を広く周知する機会となった。	30,521	商工労働部	観光政策課
114	観光イベントブック「ちばnote」作成事業		本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	観光イベントブック「ちばnote」を発行した。 ・回数：6回 ・内容：県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象：県民等 ・配布先：鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	・発酵文化認知度向上のため、発酵特集を毎号掲載した。 ・千葉国際芸術祭などの文化イベントの記事を取り入れた。	11,594	商工労働部	観光政策課
115	「グリーン・ブルーツーリズムinちば」推進事業		農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。	①「ちばまるしえキャンペーン」の開催 令和7年9月12日～令和8年1月5日の期間、県内農林水産物直売所や収穫体験施設等の179施設が参加した。プレゼント企画の応募総数は2334通であった。 ②県内2農泊協議会のビジョンマップの作成 県のグリーン・ブルーツーリズムの認知度向上と県内外の集客力アップを図ることを目的として、県農泊協議会のうち、農泊コンテンツの充実を図る協議会と事業者のネットワーク化を図る協議会について、ワークショップを開催し、現状の課題と将来像について整理した。 この整理結果をもとにビジョンマップを作成した。	農林水産業や農山漁村に対する都市住民の理解促進が図られた。	7,446	農林水産部	農地・農村振興課
116	ちばアクアラインマラソン開催事業		スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	「ちばアクアラインマラソン2026」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整えた。	株式会社ZOZOと連携し、大会キービジュアルを大幅刷新することで文化芸術に触れる機会を図ることができた。	56,864	環境生活部	スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
117	日本遺産魅力発信推進事業		日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組みとして、成田市で「教員研修」を実施した。 ・駅などへのポスター掲示、HPやSNS等(Instagram・Facebook・協議会観光アプリ)での情報発信 ・関係団体との連携事業	観光誘客事業や関係団体との連携強化が進んでいる。	100	教育庁	文化財課
118	県有文化財管理活用事業		郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	消防設備等の老朽化のためR6年度から一般公開を中止	-	-	教育庁	文化財課
119	海業による地域活性化支援事業		海業研修会の開催や地域が行う海業に係る活動費用に対する支援により、県内各地域の海業推進を図る。	①漁業関係者や観光関係者、市町村等を対象に、県内4地域で海業研修会を開催した。 ②地域の個性や魅力を活かした新たな海業を計画的に推進するために必要となる活動に対して支援を行った。	①県が策定した「千葉県海業推進基本構想」の説明、専門講師による講演を行い、関係者へ基本構想を普及するとともに、海業を通じた地域活性化に関する理解を深めた。 ②関係者協議や事業化検討、計画策定等に係る活動費用の支援により、各地域が海業の取組を計画的かつ効果的に実施できるようになった。	5,610	農林水産部	水産局水産課
120	日本国際博覧会(大阪・関西万博)自治体参加催事出展事業 発酵を活用した千葉の魅力発信事業		大阪・関西万博において、千葉県の「発酵」の魅力をPRするブースを出展し、県産品の販路拡大や県内への誘客促進につなげる。 また、大阪・関西万博を契機として千葉県の「発酵」の魅力を継続的にPRするため、ロゴマークを作成し、ロゴを活用したプロモーションを実施する。	大阪・関西万博に「発酵県ちば」をテーマに出展し、多くの方に来場いただいた。	千葉県ブースに来場いただいた多くの方に、本県の発酵文化などの魅力を発信することができた。	44,784	総合企画部	政策企画課

②観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組23 本県固有の歴史・伝統・食文化等と観光の連携促進								
121	観光情報発信ウェブサイト管理・運営事業		・WEBサイトやSNSによる情報発信を通じて、閲覧者に対し、本県観光・物産の認知度向上を図る。 ・その時期ならではの旬の情報やイベント情報を発信することで、来訪の促進を図る。	文化施設のスポット紹介や施設で開催されるイベント情報などを随時発信した。	文化施設への来訪促進を図ることで、文化芸術に触れる機会を増やした。	11,850	商工労働部	観光政策課
取組24 首都圏にありながら豊かな自然に恵まれた本県の地理的強みを生かした事業展開								
122	芸術祭開催事業	再掲	○広域的な市町村連携により、地域の自然・文化・歴史などの資源を生かし、交流人口の拡大や地域活性化などにつなげるにより、本県ならではの芸術祭として発展させていくことを目的とした事業であり、 (1)千葉ならではのテーマや「ちば文化資産」を活用した芸術祭で、 (2)県内の3市町村以上が連携して実施する、 (3)総事業費が1億円を超える事業に対して、県が負担金を支出するとともに、実行委員会へ参画を行うもの。 ○令和8年度には下記のとおり2つのエリアで開催が決定しており、現在、県と市町で構成するそれぞれの実行委員会において、開催に向けた準備を進めている。 (1)市原市・木更津市・大多喜町の「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」 (2)成田市・印西市・栄町の「空・水・空芸術祭」	(1)「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」(市原市・木更津市・大多喜町)実行委員会において開催に向けた準備を進め、令和8年1月30日に第2回総会を開催した。また、本祭に向けた機運を醸成するため、令和8年3月下旬にプレイベントを開催し、複数の常設作品の公開やワークショップ、イベント(おにぎりのための運動会)を開催した。 (2)「空・水・空芸術祭」(成田市・印西市・栄町)県と市町の実務者レベルにおいて準備委員会を設立した後、令和8年2月6日に実行委員会設立総会及び第1回総会を開催した。	双方の芸術祭について、着実に開催に向けた準備を進めることができた。特に県内外に向けた広報を通して本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。 特に、「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」のプレイベントにおいては、子どもから大人まで幅広い世代が現代アート、音楽等に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	78,000	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
123	軽音楽振興事業	再掲	全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	①第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 8月2日に青葉の森公園芸術文化ホールにて「第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会」決勝を実施した。(24バンド参加) ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 12月24日に千葉県文化会館で「第14回千葉県高等学校軽音楽コンテスト」決勝を実施した。(25バンド参加)	若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図った。	1,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
124	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業	再掲	国内最大の音楽フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」の本県開催を好機として、県内の音楽文化の振興を図るため、県内の若者が出演できる場をオープニングアクトとして設け、出演者を決定するオーディションと県内の高校生にイベントの会場や舞台裏を見学してもらうバックヤードツアーを実施する。 また、より多くの県民に若者の音楽文化に触れる機会を提供するため、最終審査を青葉の森公園芸術文化ホールで実施し、入場無料で一般公開する。	○オーディション ・応募組数:約170組 ・優勝者:4組 ○最終公開オーディション ・応募総数:613名 ・観覧者数:318名 ○バックヤードツアー ・応募総数:106名 ・参加者:49名	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」オープニングアクトオーディションを実施することで、県内の若手バンド、アーティストの活躍の機会の創出と県内の音楽文化の振興に寄与した。	4,289	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
125	「ちば文化」創造・継承事業		・県内市町村の企画・実施する千葉ならではの豊かな自然環境等を取り入れた芸術祭等の新たな文化活動に対し、補助金を交付する。 ・民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付する。	①県内市町村の企画・実施する、千葉ならではの豊かな自然環境・都市機能を取り入れた新たな文化活動に対し、補助金を交付した。 件数:12件 ②民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付した。 件数:7件	市町村や民間企業等の実施するイベントの経費の補助により、本県の文化の向上、地域の魅力発信及び地域活性化に寄与することができた。	15,436	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
126	県立美術館・博物館事業	再掲	県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
127	県立美術館・博物館企画展等展示事業	再掲	県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

施策の柱3 多様な伝統文化の保存・継承・活用
～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承していくための取組を推進します～

①ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組25 伝統的な文化や芸能に触れる機会の提供								
128	「ちば文化資産」PR事業	再掲	○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間：2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPIによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
129	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容：洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校26校 (洋楽：5校/伝統芸能(能楽7校・雅楽8校・三曲6校)：21校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,311	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
130	「ちば」の文化芸術発信事業		伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。	①みんなで楽しむ邦楽コンサート 開演日：令和8年1月17日 会場：青葉の森公園芸術文化ホール 来場者数：973名 ②ちばの郷土芸能フェスティバル 開演日：令和8年2月14日 会場：東総文化会館大ホール 来場者数：719名 ③二人三番叟・MANSAIボレロ 開演日：令和8年3月20日 会場：千葉県文化会館大ホール 来場者数：1,460名	県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	22,995	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
131	県立美術館・博物館事業	再掲	県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
132	県立房総のむら指定管理業務委託	再掲	房総のむらの博物館事業に関する業務、施設等の管理・運営に関する業務、自主事業を指定管理者へ委託し、利用者にサービスを提供するとともに、文化芸術の振興に関する事業をおこなう。	指定管理者である千葉県教育振興財団へ管理運営業務を委託した。考古、民俗、歴史分野の企画展示を計3回、体験・実演等を年間435件実施した。他機関との連携としては、航空科学博物館と芝山町立芝山古墳・はにわ博物館との「3館合同スタンプラリー」、ちば部と連携した探索型ミステリー「房総のむらの事件簿」を開催した。このほか夏季4日間の開館時間延長を行った。	展示や体験・実演によって、房総の歴史や、伝承されてきた暮らしの中の技術に触れる機会を提供した。連携事業のスタンプラリーによって、房総のむらやはにわ博物館では来場者の獲得に繋がったとみられ、他機関との連携による効果を得ることができた。	474,485	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
133	伝統的工芸品産業振興事業		県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	(1)令和7年度は6件の新規指定申請があり、このうち6件全てを指定した。 (打上げ花火、和竿、いすみ楊枝、へら浮子、砂子細工、佐原耳かき) (2)上記の新規指定の状況をふまえ、一覧及びホームページを最新の情報に更新した。 (3)令和7年度は助成金の申請なし (4)房州うちわ振興協議会に対し、うちわの製作講座に係る費用について補助金を支出した。 (5)房州うちわについて、関東伝産協会が実施する展示販売会に出展した。 (6)令和7年10月1日に、伝統的工芸品の製作者向けの講座(SNSの活用方法に係ること)を実施した。また、令和8年2月、イオンモール幕張新都心にて、県指定伝統的工芸品の展示販売会を実施した。	新たに指定した千葉県指定伝統的工芸品のホームページへの掲載、展示販売会の実施等により、千葉県の伝統的工芸品を広く周知できた。 また、SNSの活用方法についての製作者向け講座を実施し、販促活動のために必要となる技術の向上に一定程度効果があった。	7,282	商工労働部	観光政策課
134	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業 (平成26～30年度国産花きイノベーション推進事業 令和元～4年度次世代国産花き確立推進事業)		県産花植木を活用したディスプレイや日本庭園等の展示、植木伝統樹芸実演会の開催などにより、生産技術の向上と県産花植木の魅力の発信を図る。	・県産花きディスプレイ(R8.1.15～18)(そごう千葉店) ・県産花きディスプレイ(R8.1.30～2.1)(池袋サンシャインシティ) ・日本庭園の展示(R8.2.7～16)(成田空港) ・植木伝統樹芸実演会(R8.2.7)(成田空港)	県産花きの展示や、植木を用いた日本庭園の展示、植木伝統樹芸実演会の実施により、日本の伝統文化に触れる機会を創出した。	3,369	農林水産部	生産振興課
135	無形民俗文化財公開普及事業	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和7年度房総の郷土芸能」をいすみ市岬ふれあい会館で令和8年1月25日に開催した。夷隅・長生地域の6つの民俗芸能団体が出演、一般県民等470名の来場者(入場無料)があった。 ・「千葉県の無形民俗文化財」21号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りで見られにくい郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	1,492	教育庁 教育振興部	文化財課
136	県有文化財管理活用事業	再掲	郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	消防設備等の老朽化のためR6年度から一般公開を中止	-	-	教育庁	文化財課

①ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組25 伝統的な文化や芸能に触れる機会の提供								
137	水産物消費・食育対策事業		おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の小中高等学校等の調理実習に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:10回)②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供した。③魚食普及パンフレットを配布した。	①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。③水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及パンフレットを配布した。	98	農林水産部	水産局水産課
取組26 SNS等の活用による情報発信								
138	ちばの食育活動促進事業		市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	・日本型のバランスの良い食事スタイルの実践に向け、食育啓発リーフレットを市町村へ配付:6種類 ・地産地消食育推進事業において、栄養教諭を目指す大学生等に対する体験ツアーの1メニューとして、郷土料理の調理実習を実施1回(3月3日) ・地域食育活動交換会の開催(書面開催を含む):10地域 ・ちば食育ボランティア研修会:1回(12月23日)	食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。 栄養教諭を目指す大学生等に対する体験ツアーでは、太巻き寿司の調理実習を行い、若い世代へ地域の食文化を継承する機会を提供した。	4,267	農林水産部	環境農業推進課
139	出土文化財管理活用事業		発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(91件:学校教育現場40件/社会教育施設42件/各種イベント・研修会等6件/貸出3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度から参加者が若干減少したが、利用者の評価は高く、リピーターが多い。新規の利用者拡大が課題である。	2,256	教育庁	文化財課
140	無形民俗文化財公開普及事業	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和7年度房総の郷土芸能」をいすみ市岬ふれあい会館で令和8年1月25日に開催した。夷隅・長生地域の6つの民俗芸能団体が出演、一般県民等470名の来場者(入場無料)があった。 ・「千葉県の無形民俗文化財」21号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りでしか見られない郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	1,492	教育庁 教育振興部	文化財課
141	ふさの国文化財ナビゲーションシステム		国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	国・県指定文化財の新指定23件、埋蔵文化財包蔵地の新発見12件、範囲変更178件のデータ更新を行い、公開した。	649	教育庁	文化財課
142	県立美術館・博物館情報発信事業	再掲	民間出身の広報戦略アドバイザーの知識・経験を活かし、戦略的な情報発信を行うことで、博物館・美術館に関心がない層も含めた認知度の向上・集客強化を図り、より多くの県民が文化芸術に触れる機会をつくる。	中央博物館で7月～9月に開催した特別展テーマにあわせ、夏休みの家族連れをターゲットとした、千葉の文化を学べるイベント・発信等を実施した。イベントでは、料理研究家インフルエンサーを起用し、SNSでのイベント告知を依頼した。 実施日:令和7年8月23日(土)10:00～17:00 会場:県立中央博物館前敷地 委託業者:株式会社オニオン新聞社 イベント来場者:1,182人	千葉県の海の幸を用いた食文化に触れる機会を創出することを意識して、キッチンカーによる県内海産物を使用したメニューの販売や、物販ブースを設け、千葉県漁業協同組合連合会による県産海苔及び水産加工品の販売を実施した。	4994	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
143	県立美術館・博物館活性化事業(資料のデジタル化)	再掲	県立美術館・博物館の環境整備等を実施することにより利用環境を改善し、県民が快適に利用できる環境づくりを目指す。	美術館では、デジタルコンテンツ「コレクション100選」を作成し100作品分の解説・高精細画像を公開した。加えて、所蔵作品180件の高精細画像を撮影した。また、中央博物館では10,537点のデジタル化を行った。	デジタル化した古写真等のデータをデータベース上に登録することにより、だれもが博物館資料に気軽にアクセスできるようになり、それに伴ってマスコミ等による資料の活用件数が増加した。 コレクションの魅力や研究成果をあらゆる人々が身近な環境の中で触れられる場面を創出するため、デジタル技術を活用してオンライン上で公開することができた。	6,005	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
144	県立美術館広報ブランディング化事業		県民に親しまれる魅力ある美術館として生まれ変わるため、来館者をはじめとするあらゆる県民に対して県立美術館の魅力を効果的に広報するとともに、当館の持つ強みを活かしたブランド力を高め、地域の活性化に寄与する。	美術館の広報業務として、秋の特別展の広報事務局を委託したほか、展覧会の広報バナーや印刷物を作成した。ウェブデザインの魅力向上として、コレクション100選のデジタル化を公開した。また、魅力ある美術館として、ファミリーが容易に参加できるワークショップを展開するためのワゴンや机、来館者がくつろげるソファ(当館を建築した大高正人がデザインした)を設えた。さらに、来館者サービスの一環として、新しいミュージアムグッズの開発を手掛けた。	来館者に対して親しみやすくこぢょう空間を創出できているだけでなく、広く県民に対して美術館の魅力をお伝えすることができている。	6,299	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

②伝統文化の保存・継承								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組27 伝統文化の保存や後継者育成								
145	「ちば」の文化芸術発信事業	再掲	伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。	①みんなで楽しむ邦楽コンサート 開演日：令和8年1月17日 会場：青葉の森公園芸術文化ホール 来場者数：973名 ②ちばの郷土芸能フェスティバル 開演日：令和8年2月14日 会場：東総文化会館大ホール 来場者数：719名 ③二人三番叟・MANSAIボレロ 開演日：令和8年3月20日 会場：千葉県文化会館大ホール 来場者数：1,460名	県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	22,995	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
146	文化財管理指導講習会・文化財保存活用研修会		各市町村教育委員会及び文化財所有者等による文化財の保護と適切な管理のため、県内所在文化財の保護・管理等に関する基礎知識、保存技術及び実務についての研修として文化財管理指導講習会を開催する。また、市町村における文化財行政に係る人材育成等のため、文化財保存活用研修会を開催する。	・令和8年2月6日に、文化財防災をテーマに専門家や他県自治体担当者を招いて、文化財管理指導講習会を開催した。 ・令和7年7月23日に、国重要文化財の旧御子神家住宅において、修理を担当する業者を交えて文化財保存活用研修会を開催した。	・文化財管理指導講習会では、専門家や担当者が実践した知見を共有することにより、文化財防災の知識や災害時に求められる対応力を強化することができた。 ・文化財保存活用研修会では、国重要文化財の建造物の修理過程を実地で見学したことにより、文化財建造物の維持・管理・修繕についての知見を高めることができた。	26	教育庁	文化財課
147	文化財保護指導委員		県内の指定文化財の実態把握及び開発事業に伴う埋蔵文化財の滅失等の防止を目的として、文化財保護法第191条により選定した文化財保護指導委員が国指定文化財及び埋蔵文化財を巡視・報告する。	国指定文化財88件・埋蔵文化財812件、計900件を年2回巡視し、報告した	国指定文化財、埋蔵文化財の現状が把握でき、保護措置を図ることができた。	2,403	教育庁	文化財課
148	文化財団体助成事業		文化財保護活動の一層の促進を図るため、県内全域にわたって活動している千葉県文化財保護協会に対して助成する。	・千葉県文化財保護協会に対して補助金を交付した。	魅力的な講演会の開催など、文化財保護活動が促進された。	100	教育庁 教育振興部	文化財課
149	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業		植木伝統樹芸士・銘木100選の選定などを行う。	「千葉県植木伝統樹芸士」として1名、「千葉県植木銘木100選」として6本を認定した。	伝統的な植木造形技術・知識(接ぎ木や割りなど)に優れた方を植木伝統樹芸士に認定することで、技術・知識の保存・継承に資することができた。 本県植木生産者の卓越した樹芸技術によって仕立てられ、芸術的品位風格を備えている樹を銘木に認定することで、技術・知識の保存・継承に資することができた。	231	農林水産部	生産振興課
取組28 千葉県伝統的工芸品の指定や後継者養成								
150	伝統的工芸品産業振興事業	再掲	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	(1)令和7年度は6件の新規指定申請があり、このうち6件全てを指定した。 (打上げ花火、和竿、いすみ楊枝、へら浮子、砂子細工、佐原耳かき) (2)上記の新規指定の状況をふまえ、一覧及びホームページを最新の情報に更新した。 (3)令和7年度は助成金の申請なし (4)房州うちわ振興協議会に対し、うちわの製作講座に係る費用について補助金を支出した。 (5)房州うちわについて、関東伝産協会が実施する展示販売会に出展した。 (6)令和7年10月1日に、伝統的工芸品の製作者向けの講座(SNSの活用方法に係ること)を実施した。また、令和8年2月、イオンモール幕張新都心にて、県指定伝統的工芸品の展示販売会を実施した。	新たに指定した千葉県指定伝統的工芸品のホームページへの掲載、展示販売会の実施等により、千葉県の伝統的工芸品を広く周知できた。 また、SNSの活用方法についての製作者向け講座を実施し、販促活動のために必要となる技術の向上に一定程度効果があった。	7,282	商工労働部	観光政策課

③文化財・文化的景観等の保存と活用								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組29 文化財の保存に配慮した活用の推進								
151	指定文化財台帳整備事業		県指定文化財等について、文化財の管理・活用を図る基礎資料とするため、新指定文化財や未撮影の文化財等について、専門業者に委託して写真・動画撮影を行い、画像資料を整備する。	県指定文化財2件について撮影を行い、画像資料を整備した。	文化財の画像が整備されたことにより、さらなる文化財の活用が促進されるものと思われる。	66	教育庁 教育振興部	文化財課
152	文化財保護審議会		文化財指定・登録のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。	・文化財保護審議会を年4回開催し、文化財調査結果の報告、審議を行った。 ・教育委員会が諮問し、審議会から1件の指定・1県の追加認定・7件の登録の答申を受けた。	文化財の指定・登録を着実に実施できた。管理に係る指導助言について、市町村・所有者と情報共有し、文化財の保護に資することができた。	1,008	教育庁 教育振興部	文化財課
153	指定候補文化財等調査事業		千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。	・文化財保護審議委員による指定候補文化財の調査、指定文化財の保存状況調査を12件実施した。 ・登録候補文化財の調査を課職員が適宜実施した。	指定・登録候補文化財調査、保存状況調査は、十分な調査を実施し、新指定・登録、文化財管理の向上につなげた。	1,008	教育庁 教育振興部	文化財課
154	文化財保存整備助成事業		国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	・所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を行った。 ・国指定文化財については、「伊能忠敬関係資料(香取市)」等、計11件について補助した。 ・県指定文化財については、「猿田神社本殿(銚子市)」等、計16件について補助した。	保存修理等事業について、適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。 文化財の整備により、多くの人々に文化財の魅力を周知でき、用具の修理等により、無形民俗文化財の保存と継承に資することができた。	90,029	教育庁 教育振興部	文化財課
155	文化財管理助成事業		国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。	・所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施した。 ・国指定重要文化財の「鳳来寺観音堂(市原市)」等、計16件について補助した。 ・国天然記念物「成東東金食虫植物群落(山武市)」の管理事業について補助した。	防災設備点検等の維持管理事業について適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。	1,734	教育庁 教育振興部	文化財課
156	史跡等購入助成事業		史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	・史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を行った。 ・史跡「取掛西貝塚(船橋市)」を対象として実施した。	国指定史跡等公有地化を着実に進めた。	2,129	教育庁 教育振興部	文化財課
157	国際境界模式地(GSSP)関係遺産保存活用等支援事業		市原市田淵所在の養老川河岸の地層は、令和元年に国際地質学連合から「国際境界模式地(GSSP)」に認定、この地層に代表される時代は「チバニアン」と命名され、この周辺地域は「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」として国指定天然記念物に指定されている。国際的学会による承認を受けた世界水準の価値を有するこの文化財について、市原市が行う整備事業のうち、自然科学教育への効果が特に期待できる部分を対象に、国庫補助事業への上乗せ補助を行う。	市原市が令和7年度に計画している国庫補助事業に対し、上乗せ補助を実施した。	整備事業(補助対象事業)の工程進捗管理や市原市との協議をふまえ適正に補助・助言を行えている。	6,000	教育庁 教育振興部	文化財課
158	県立美術館・博物館収集保管事業		県民の財産である資料を適切な環境で保管し、後世に伝えていく。	収集・保管している資料の総点数は、令和8年3月31日時点で1,317,589点であった。これらの収蔵資料の中には、国や県による指定文化財41件2458点、国の登録文化財が2件656点、市町村指定の文化財57件67点が含まれている。	県立美術館・博物館として、ちばの文化資源を確実に次世代へ伝える保存機能の役割を果たした。	8,030	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
159	県立博物館県指定文化財修繕事業		県が所有する指定文化財建造物について、適切な保存・管理をおこなう。	国指定重要文化財旧御子神家住宅の保存修理事業(耐震補強・屋根葺替・破損箇所補修)を実施した。また、保存修理の状況についての解説パネルを現地に掲示したほか、一般向けや県内文化財担当職員向けの見学会等を開催した。	旧御子神家住宅の耐震性を調査し補強を行ったとともに、破損・劣化箇所を修理したことで、県民の財産である文化財が今後も維持されるようにした。また、解説パネルや見学会を通じて、県民が文化財修復の現場に触れられる機会を作り、その方法や意義を発信した。※①事業参加者数は見学会の参加者数。	54,020	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組30 文化財の調査と普及活動の推進								
160	重要遺跡確認調査		県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施する。	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施した。 ・いすみ市新田野貝塚の確認調査	いすみ市新田野貝塚の発掘調査資料を整理・分析した。	2,063	教育庁	文化財課
161	埋蔵文化財緊急調査助成		土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	各種開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、21市町に対して調査費用の一部を助成した。	市原市ほか21市町に対して、発掘費用総額の10%～12.5%を助成した。	11,070	教育庁	文化財課
162	不特定遺跡発掘調査助成		当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難と判断されたものについて、事業者の負担軽減を図るため、7市(11件)に対して調査費用の一部を助成した。	佐倉市六崎外出遺跡ほか11件について、発掘調査及び整理作業・報告書の刊行にかかる費用の一部を助成した。	4,399	教育庁	文化財課
163	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	再掲	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	国・県指定文化財の新指定23件、埋蔵文化財包蔵地の新発見12件、範囲変更178件のデータ更新を行い、公開した。	649	教育庁	文化財課

③文化財・文化的景観等の保存と活用

			令和7年度実施結果				担当部署名	
No.	事業名	再掲	事業概要	実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組30 文化財の調査と普及活動の推進								
164	県有文化財管理活用事業	再掲	郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	-	-	-	教育庁	文化財課
165	出土文化財管理活用事業	再掲	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(91件:学校教育現場40件/社会教育施設42件/各種イベント・研修会等6件/貸出3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度から参加者が若干減少したが、利用者の評価は高く、リピーターが多い。新規の利用者拡大が課題である。	2,256	教育庁	文化財課
166	県立美術館・博物館調査研究事業		学芸員のそれぞれの専門分野を活かした、各分野の最先端に行く調査・研究を実施する。多様な専門分野の学芸員が集約されることを見込み、分野横断的な視点からの調査・研究を実施するとともに、得られた新知見を展示等で広く県民に還元するほか、県民の財産である博物館資料の適切な収集保管の実施につなげる。	県立博物館・美術館では、研究員の専門性を活かし、各館のテーマに沿った調査研究活動を行った。	調査研究活動の成果を、展示や教育普及活動を通じて、県民に分かりやすく伝えた。	11,590	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組31 文化的景観等の保存と活用の推進								
167	県立美術館・博物館事業	再掲	県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
168	千葉県建築文化賞	再掲	安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日～9月30日 作品応募数:48作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞3点、計8点を表彰した。 3. 表彰式 令和7年3月17日に本庁舎5階大会議室で、表彰式を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,248	県土整備部	建築指導課
169	景観セミナー(まち歩きイベント等実施)		県民の景観まちづくりに対する積極的な参加を促すため、専門家による講座やまち歩きイベント等を実施する。	回数:2回(委託によりまち歩きツアーを実施) 開催概要 (1)日時:R7年11月23日、R8年1月31日 (2)場所:木更津市内、佐倉市内 (3)参加者:23名、21名 (4)主催:一般社団法人千葉県建築士会、公益社団法人 千葉県建築士事務所協会	良好な景観形成に対する県民の意識の高揚を促すことができた。	1,386	県土整備部	公園緑地課
170	景観アドバイザーの派遣		市町村による景観の取組みを促進するため、景観調査や景観計画づくり等、地域の景観まちづくりに係る具体的課題に対して有識者(学識者、景観整備機構等)を派遣する。	回数:1回(景観アドバイザーによる講演会等を実施) 景観アドバイザーによる講演等 開催概要 (1)日 時:R7年7月14日 (2)場 所:木更津市役所 (3)参加者:23名(後日視聴50名) (4)講 師:一般社団法人地域緑花技術普及協会 代表理事 細野 哲央	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及に寄与した。	33	県土整備部	公園緑地課

④伝統文化を担う子ども・若者の育成								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組32 児童生徒に対する伝統文化に触れる機会の提供								
171	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校26校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽7校・雅楽8校・三曲6校):21校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,311	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組33 関係団体と連携した今後を担う人材の育成								
172	部活動に関する事業(芸術家や文化芸術団体等と協力して児童生徒が指導を受ける機会の提供、部活動の地域移行含む)	再掲	千葉交響楽団のメンバーが県内小中学校を訪問し、吹奏楽部の児童生徒を対象に指導助言する。	令和7年度は県内5校で実施。 八千代市大和田中学校 我孫子市立久寺家中学校 栄町立栄中学校 山武市立山武望洋中学校 木道市立君津津中学校	文化芸術に触れる機会を創出することを意識して、楽器に触れたり、演奏指導を受ける場面を設定した。	-	教育庁	学習指導課
173	ちばの食育活動促進事業	再掲	市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	・日本型のバランスの良い食事スタイルの実践に向け、食育啓発リーフレットを市町村へ配付:6種類 ・地産地消食育推進事業において、栄養教諭を目指す大学生等に対する体験ツアーの1メニューとして、郷土料理の調理実習を実施1回(3月3日) ・地域食育活動交換会の開催(書面開催を含む):10地域 ・ちば食育ボランティア研修会:1回(12月23日)	食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。 栄養教諭を目指す大学生等に対する体験ツアーでは、太巻き寿司の調理実習を行い、若い世代へ地域の食文化を継承する機会を提供した。	4,267	農林水産部	環境農業推進課
174	水産物消費・食育対策事業	再掲	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の小中高等学校等の調理実習に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:10回)②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供した。③魚食普及パンフレットを配布した。	①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。③水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及パンフレットを配布した。	98	農林水産部	水産局水産課

施策の柱4　ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信
～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化を進めるとともに、文化芸術の新たな表現・発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や
伝統文化等と国内外のコラボレーションなどによる新たな「ちば文化」を創造します～

①「ちば文化」のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組34 「県民の日」など様々な機会を利用した「ちば文化」の魅力発信								
175	千葉の海の魅力発信事業		千葉の海について、ブランディングをより効果的に進めるため、部局横断的な取組を実施する。 また、「千葉の海ブランドデザイン」と「千葉の海・大使 さかなクン」を活用し、部局横断的な取組に更なる統一感と発信力を強化し、県内外に本県の海の魅力強く印象付ける。	・千葉の海ブランドデザインについて、広報物資を制作したほか、イベントでのブース出展や企業・団体への呼びかけ等によりデザインの周知を行った。 ・千葉の海ブランドデザインや本県の海の魅力PRする「千葉の海魅力発信イベント」を県内外で計3回実施し、千葉の海・大使を活用したトークショーや広報物資の配布等を行った。	千葉の海ブランドデザイン及び千葉の海・大使を活用することにより、千葉の海の魅力効果を効果的かつ統一的に発信できた。	7,804	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
176	県民の日事業	再掲	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティーを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①本県の「発酵県」としての魅力を発信するため、発酵にゆかりのある香取市において県民の日中央行事を実施した。 ・ちばみんフェス2025in香取 日時:6月15日 10:00～16:00 会場:香取市佐原文化会館、香取市民体育館、みんなの賑わい交流拠点コンパスほか ②地域行事:11件 ③賛同行事:計76者	①当日は約25,000人が来場し、発酵文化を体験できるワークショップやマルシェ、グルメ販売のほか、「佐原の大祭」の山車の特別曳き廻しの実施など、本県の「発酵県」としての魅力や地域の文化を多くの方に発信できた。 ②地域行事については、昨年度に引き続き、地域の魅力を発信できるような企画が考案・実施された。	46,023	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
177	国民文化祭周知・派遣		毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	今年度は、長崎県で開催。 「ながさきピース文化祭2025 第40回国民文化祭 第25回全国障害者芸術・文化祭」 (令和7年9月14日～11月30日)	－	－	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
178	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:1,430,294人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	－	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
179	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間:2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
180	県立美術館・博物館事業	再掲	県立美術館・博物館において千葉県の貴重な歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等の資料の収集や調査研究を行い、各館の特色を活かした展覧会や各種講座、講演会等を実施する。	各館の特色を生かして、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:727,437人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,434,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組35 「千葉の海」の魅力発信								
181	千葉の海の魅力発信事業	再掲	千葉の海について、ブランディングをより効果的に進めるため、部局横断的な取組を実施する。 また、「千葉の海ブランドデザイン」と「千葉の海・大使 さかなクン」を活用し、部局横断的な取組に更なる統一感と発信力を強化し、県内外に本県の海の魅力強く印象付ける。	・千葉の海ブランドデザインについて、広報物資を制作したほか、イベントでのブース出展や企業・団体への呼びかけ等によりデザインの周知を行った。 ・千葉の海ブランドデザインや本県の海の魅力PRする「千葉の海魅力発信イベント」を県内外で計3回実施し、千葉の海・大使を活用したトークショーや広報物資の配布等を行った。	千葉の海ブランドデザイン及び千葉の海・大使を活用することにより、千葉の海の魅力効果を効果的かつ統一的に発信できた。	7,804	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
182	県立美術館・博物館企画展等展示事業(海に関連した企画展等)	再掲	県立美術館・博物館において、県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元することを目的として、各館のテーマに沿った展示を開催する。	・企画展入場者総数:133,526人 ・美術館「没後50年 高島野十郎展」令和7年7月18日～9月28日、中央博物館「房総うみの幸 大百科 ー千葉の豊かな海と食文化ー」令和7年7月12日～9月23日等	県民が自然や歴史、文化と触れる機会を提供するため、研究員の専門的知見や調査研究・資料収集の成果を、収蔵資料や借用資料等の展示を通して県民に還元した。	99,841	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

①「ちば文化」のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組35 「千葉の海」の魅力発信								
183	海業による地域活性化支援事業	再掲	海業研修会の開催や地域が行う海業に係る活動費用に対する支援により、県内各地域の海業推進を図る。	①漁業関係者や観光関係者、市町村等を対象に、県内4地域で海業研修会を開催した。 ②地域の個性や魅力を活かした新たな海業を計画的に推進するために必要となる活動に対して支援を行った。	①県が策定した「千葉県海業推進基本構想」の説明、専門講師による講演を行い、関係者へ基本構想を普及するとともに、海業を通じた地域活性化に関する理解を深めた。 ②関係者協議や事業化検討、計画策定等に係る活動費用の支援により、各地域が海業の取組を計画的かつ効果的に実施できるようになった。	5,610	農林水産部	水産局水産課
184	・千葉のブランド形成推進事業 ・世界に向けた千葉のブランド形成推進事業		各種メディア等を活用し、本県の多様な魅力を、地域の歴史や文化などのストーリーとともにPRする。 (1)テレビ(在京キー局)による情報発信 (2)ラジオを活用した情報発信 (3)東京メトロで配布するフリーマガジン等への記事の掲載及び誌面と連動したイベントの開催 (4)メディアリレーション事業による情報発信 (5)在京外国人向け誌面広告を活用した情報発信	・テレビ(在京キー局)による情報発信:28件 ・ラジオを活用した情報発信(ミンナノチカラ:52件、YOU遊チバ:56件、コミュニティFM放送:20件、CM放送:340件) ・東京メトロで配布するフリーマガジン等への記事の掲載及び誌面と連動したイベントの開催 誌面掲載:3回(7月20日発行号、9月20日発行号、11月20日発行号) モニターツアー:2回(11月22日、11月29日)九十九里周辺エリア ・メディアリレーション事業による情報発信 プレスリリース等:14件 テレビ露出:52件 ・在京外国人向け誌面広告を活用した情報発信 誌面掲載:3回(9月26日発行号、11月28日発行号、12月26日発行号)	在京メディア等を活用したPR及び誌面広告などにより、県内各地域の認知度を高めるとともに、多くの方が本県の歴史・文化に係る情報に触れる機会を創出できた。	161,037	総合企画部	報道広報課
取組36 「発酵文化」の魅力発信								
185	日本国際博覧会(大阪・関西万博)自治体参加催事出展事業 発酵を活用した千葉の魅力発信事業	再掲	大阪・関西万博において、千葉県の「発酵」の魅力をPRするブースを出展し、県産品の販路拡大や県内への誘客促進につなげる。 また、大阪・関西万博を契機として千葉県の「発酵」の魅力を継続的にPRするため、ロゴマークを作成し、ロゴを活用したプロモーションを実施する。	大阪・関西万博に「発酵県ちば」をテーマに出展し、多くの方に来場いただいた。	千葉県ブースに来場いただいた多くの方に、本県の発酵文化などの魅力を発信することができた。	44,784	総合企画部	政策企画課
取組37 「日本遺産」や「ちば文化資産」など県内文化資源の活用								
186	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間:2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
取組38 国際交流における「ちば文化」の活用								
187	デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ	再掲	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、和服体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。 日時:令和7年9月24日～25日 人数:7名(奨学生6名、引率兼通訳1名) 内容: ①成田山新勝寺訪問。 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。 ③「見浜園」で茶道体験などを実施	①千葉県の伝統ある名所を訪問し、日本の文化を感じていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和装の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいたことができた。 ③茶のたて方、飲み方、歴史等について学んでいたことができた。	202	総合企画部	国際課
188	県立美術館国際文化交流事業	再掲	千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市が姉妹都市提携を結び、令和6年度で5周年となることを記念し、デュッセルドルフ市からの提案に基づき、互いにアーティストを派遣し滞在制作(Artist in Residence)を行ってもらい、国際的な文化交流を進める。	10月23日～12月17日にデュッセルドルフからのアーティスト1名を受け入れ、滞在期間中に開催したイベントに計54名が参加した。	アーティスト歓迎会や成果展オープニングを通じて、県ゆかりのアーティストや県内及び近郊レジデンス関係者、国際交流事業関係者等との交流が広がり、美術館を中心とした文化・国際交流の輪が作られた。	13,505	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

①「ちば文化」のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組39 ICTの積極的な活用								
189	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間:2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
190	県立美術館・博物館デジタルアーカイブ事業		博物館資料の収蔵品データベースの作成を含むデジタル・アーカイブ化とその公開・発信を行い、博物館の機能強化、資料の公共化やグローバルな発信、県民の創造的活動への活用に資する。	ウェブビジター数は736,296人、デジタルミュージアムの番組数は101件、県立博物館・美術館収蔵資料検索システムに登録されている資料は590,091件、そのうち公開されているのは498,639件であった。	過去の企画展で蓄積した情報資産の再活用や、各館における研究成果の積極的な公開が図られ、県民が自由にこれらの成果に触れることができた。	56,855	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
②新たな「ちば文化」の創造								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組40 新たな文化芸術の発掘・発信								
191	軽音楽振興事業	再掲	全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	①第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 8月2日に青葉の森公園芸術文化ホールにて「第12回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会」決勝を実施した。(24バンド参加) ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 12月24日に千葉県文化会館で「第14回千葉県高等学校軽音楽コンテスト」決勝を実施した。(25バンド参加)	若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図った。	1,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
192	アーティスト・フォローアップ(モデル)事業	再掲	既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	①第2期 4分野5名の支援対象アーティストに対し、令和7年4月から令和8年2月にかけて資金支援及び相談支援等を行った。また、アーティストの成果発表として令和8年3月に千葉県立美術館において成果展を開催した。 ②第3期 応募のあった94件の中から、計8名のアーティストを選定した。	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	25,751	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
取組41 千葉県誕生150周年記念事業により得られた新たな文化資源やネットワークの活用								
193	芸術祭開催事業	再掲	○広域的な市町村連携により、地域の自然・文化・歴史などの資源を生かし、交流人口の拡大や地域活性化などにつなげるにより、本県ならではの芸術祭として発展させていくことを目的とした事業であり、 (1)千葉ならではのテーマや「ちば文化資産」を活用した芸術祭で、 (2)県内の3市町村以上が連携して実施する、 (3)総事業費が1億円を超える事業に対して、県が負担金を支出するとともに、実行委員会へ参画を行うもの。 ○令和8年度には下記のとおり2つのエリアで開催が決定しており、現在、県と市町で構成するそれぞれの実行委員会において、開催に向けた準備を進めている。 (1)市原市・木更津市・大多喜町の「房総国際芸術祭アート×ミックス2027」 (2)成田市・印西市・栄町の「空・水・空芸術祭」	(1)「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」(市原市・木更津市・大多喜町) 実行委員会において開催に向けた準備を進め、令和8年1月30日に第2回総会を開催した。また、本祭に向けた機運を醸成するため、令和8年3月下旬にプレイベントを開催し、複数の常設作品の公開やワークショップ、イベント(おにぎりのための運動会)を開催した。 (2)「空・水・空芸術祭」(成田市・印西市・栄町) 県と市町の実務者レベルにおいて準備委員会を設立した後、令和8年2月6日に実行委員会設立総会及び第1回総会を開催した。	双方の芸術祭について、着実に開催に向けた準備を進めることができた。特に県内外に向けた広報を通して本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。 特に、「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」のプレイベントにおいては、子どもから大人まで幅広い世代が現代アート、音楽等に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	78,000	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課

②新たな「ちば文化」の創造								
No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組41 千葉県誕生150周年記念事業により得られた新たな文化資源やネットワークの活用								
194	「ちば文化」創造・継承事業	再掲	・県内市町村の企画・実施する千葉ならではの豊かな自然環境等を取り入れた芸術祭等の新たな文化活動に対し、補助金を交付する。 ・民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付する。	①県内市町村の企画・実施する、千葉ならではの豊かな自然環境・都市機能を取り入れた新たな文化活動に対し、補助金を交付した。 件数:12件 ②民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付した。 件数:7件	市町村や民間企業等の実施するイベントの経費の補助により、本県の文化の向上、地域の魅力発信及び地域活性化に寄与することができた。	15,436	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
195	商業施設連携(ちばミライ文化祭)	再掲	○千葉県誕生150周年を契機として、県内に大型商業施設を持つ企業等と連携して取組を行ってきたが、記念事業終了後も各社との連携を千葉の魅力発信に活かすため、各社を「ちばミライパートナー」と称し、取組を行っている。「ちばミライパートナー」との連携企画の一つとして、令和5年度から「ちばミライ文化祭」を開催している。 ○「ちばミライ文化祭」とは、千葉のミライを担う県内中学校、高等学校の生徒たちが、県内の大型商業施設等でコンサートやパフォーマンス、作品展などを実施し、日頃の部活動の成果を発表するもの。	「ちばミライ文化祭2025」 ・期間:令和7年10月4日～11月24日 ・参加数23校・26団体 (令和7年度初参加校6校、初参加部活9団体) ・会場数15施設	新規参加校及び参加団体の増加により、より多くの学生に部活動の成果発表の場を提供することができたことに加え、多くの来場者に対して学生のパフォーマンスに触れる機会を提供した。 さらに、ポスターデザインを千葉大学に依頼し、制作段階から学生が参画することで、文化祭としての一体感及び魅力の向上に資する取組となった。	435	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
196	OLC連携事業	再掲	「千葉県と株式会社オリエンタルランドとの文化芸術等に関する包括連携協定」は、令和5年1月に千葉県と株式会社オリエンタルランドが締結した協定であり、子どもたちの夢と未来を育み、郷土への誇りと愛着を高めるため、本協定による活動を推進し、千葉県の一層の活性化に資することを目的としている。 令和5年度には千葉県誕生150周年記念パレード、令和6年度にはファンタジースプリングスプレビューを実施したほか、「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小中学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室、職業講演会、技術系ワークショップなど、様々な事業を展開している。	「ドリーマーズ・オン・ステージ」への千葉県団体の参加、小学生を対象とした子どものワークショップ、職場体験プログラム、ダンス教室などのほか、新たな事業として、千葉県内の高等学校等に通う生徒等を対象に、株式会社オリエンタルランドにおいて「技術系ワークショップ」を実施した。	各種事業の実施を通じて、協定の目的となる「子どもたちの知的好奇心」や思いやりの心を育む「心の育成」に寄与することができた。	4,529	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
取組42 最新のテクノロジーを取り入れた新たな創作活動の促進								
該当なし								
取組43 古くから守り伝えられてきた伝統文化及び地域固有の文化と国内外の他の文化芸術分野とのコラボレーション等による新たな文化の創造								
197	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season14」を実施した。期間:2025年6月1日～2026年3月31日 ③SNSの投稿やHPIによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,828	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課
198	「ちば」の文化芸術発信事業	再掲	伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。	①みんなで楽しむ邦楽コンサート 開演日:令和8年1月17日 会場:青葉の森公園芸術文化ホール 来場者数:973名 ②ちばの郷土芸能フェスティバル 開演日:令和8年2月14日 会場:東総文化会館大ホール 来場者数:719名 ③二人三番叟・MANSAIボレロ 開演日:令和8年3月20日 会場:千葉県文化会館大ホール 来場者数:1,460名	県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	22,995	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課

②新たな「ちば文化」の創造

No.	事業名	再掲	事業概要	令和7年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
取組43 古くから守り伝えられてきた伝統文化及び地域固有の文化と国内外の他の文化芸術分野とのコラボレーション等による新たな文化の創造								
199	芸術祭開催事業	再掲	○広域的な市町村連携により、地域の自然・文化・歴史などの資源を生かし、交流人口の拡大や地域活性化などにつなげることにより、本県ならではの芸術祭として発展させていくことを目的とした事業であり、 (1)千葉ならではのテーマや「ちば文化資産」を活用した芸術祭で、 (2)県内の3市町村以上が連携して実施する、 (3)総事業費が1億円を超える事業に対して、県が負担金を支出するとともに、実行委員会へ参画を行うもの。 ○令和8年度には下記のとおり2つのエリアで開催が決定しており、現在、県と市町で構成するそれぞれの実行委員会において、開催に向けた準備を進めている。 (1)市原市・木更津市・大多喜町の「房総国際芸術祭アート×ミックス2027」 (2)成田市・印西市・栄町の「空・水・空芸術祭」	(1)「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」(市原市・木更津市・大多喜町) 実行委員会において開催に向けた準備を進め、令和8年1月30日に第2回総会を開催した。また、本祭に向けた機運を醸成するため、令和8年3月下旬にプレイベントを開催し、複数の常設作品の公開やワークショップ、イベント(おにぎりのための運動会)を開催した。 (2)「空・水・空芸術祭」(成田市・印西市・栄町) 県と市町の実務者レベルにおいて準備委員会を設立した後、令和8年2月6日に実行委員会設立総会及び第1回総会を開催した。	双方の芸術祭について、着実に開催に向けた準備を進めることができた。特に県内外に向けた広報を通して本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。 特に、「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」のプレイベントにおいては、子どもから大人まで幅広い世代が現代アート、音楽等に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	78,000	環境生活部 スポーツ・文化局	文化振興課